

株式会社kubell 会社紹介

代表取締役CEO 山本 正喜

2025年12月17日



株式会社kubell 代表取締役CEO

山本 正喜

- 1980年生まれ、大阪出身。電気通信大学情報工学科卒業。
2000年、インターネットの登場に感動し兄弟で学生起業
- エンジニア/CTOとして様々なサービス開発を行い、2011年
3月にビジネスチャットサービス「Chatwork」を開発。
事業責任者として成長を牽引し、2018年にCEO就任
- 2019年9月、東証マザーズ（現東証グロース）へ上場を果たす。
第45回「経済界大賞」にて「ベンチャー経営者賞」受賞



note.com/cwmasaki



@cwmasaki



01 | 会社概要

| 会社概要

会社名

株式会社kubell

代表取締役CEO

山本 正喜

グループ従業員数

674名 (2025年9月末日時点)

所在地

東京、大阪

設立

2004年11月11日



MISSION

働くをもっと
楽しく、創造的に

人生の大半を過ごすことになる
「働く」という時間において、
ただ生活の糧を得るためだけではなく、
1人でも多くの人がより楽しく、
自由な創造性を存分に發揮できる社会を実現する



VISION

すべての人に、 一歩先の働き方を

一部の先進的な人だけではなく、
世界中で働くあらゆる人が、
自分自身の働き方を常に「一歩先」へと
進めていけるプラットフォームを提供する



事業概要

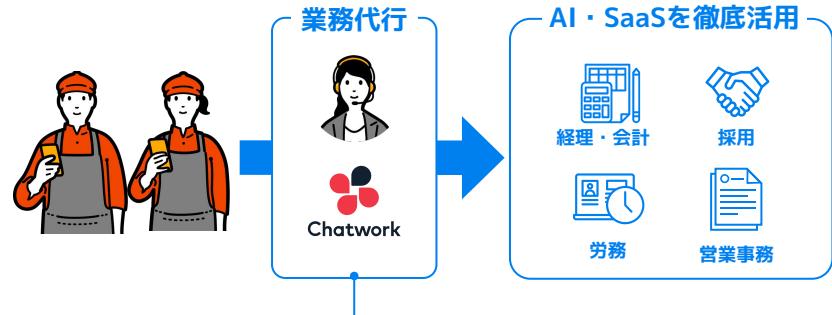
- 国内最大級のビジネスチャット「Chatwork」を展開。業界のパイオニアであり**国内利用者数No.1^{*1}**、導入社数は95.3万社^{*2}を突破
- 圧倒的な顧客基盤のあるプラットフォームを背景に、チャット経由で業務を請け負いDXを推進するBPaaSを展開

ビジネスチャット「Chatwork」



BPaaS (Business Process as a Service)

チャット経由で業務を請け負いDXを推進



- 国内利用者数No.1^{*1}** 有料ユーザーの96%が中小企業ユーザー
- 日本の1/5を占める導入社数**95.3万社以上^{*2}**
792万ユーザー
- 全業界・全職種の方が日常的に使うプラットフォーム**



経理・総務・事務など幅広い業務に対応

MINAGINE 給与計算アウトソーシング



人事・労務など専門性の高い業務に対応

*1 Nielsen NetView 及びNielsen Mobile NetView Customized Report 2024年4月度調べ月次利用者（MAU:Monthly Active User）調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む41サービスを株式会社kubellにて選定。

*2 2025年9月末時点

事業概要

その他事業



労務のプロが並走支援、違反ゼロの勤怠管理を実現

「Chatwork 勤怠管理」「MINAGINE 勤怠管理」は、打刻や労働時間の集計、有休などの各種申請が一括管理できるクラウド型勤怠管理システムです。PCログデータの取得や打刻改ざん防止機能など、充実した機能であらゆる労務リスクから会社を守ります。



専任のDXアドバイザーが最適なDX推進に向けてサポート

「Chatwork DX相談窓口」は、DX推進に課題を感じている中小企業様向けに、あらゆる場面でビジネスを効率化するサービスを紹介しています。専任のDXアドバイザーがヒアリングをおこなった上で、最適なサービスをご提案します。



中小企業に最適なアプローチができる広告メディア

「Chatwork 広告」は、日常的に利用されているChatwork上で中小企業に直接アプローチできる広告サービスです。業種や規模での絞り込みが可能で、効率的に認知・リードを獲得できます。



Chatworkユーザーが利用すべきオンラインストレージ

「Chatwork ストレージ」「セキュアSAMBA」は、インターネット環境があればいつでもどこでも簡単にファイルを共有することができるクラウドストレージサービスです。社内外へのセキュアな情報共有や、ドキュメント整理による業務効率化を後押しします。



人事評価制度を成功させるため必要な全てを提供

「Chatwork 人事評価」は、本当に必要な機能だけをリーズナブルな価格帯で提供する人事評価制度の構築・運用支援サービスです。運用サポートや運用を効率化するクラウドシステム導入まで、ニーズに応じて柔軟にメニューからお選びいただけます。



経営改善・DX推進の情報が詰まつたお役立ちメディア

「ビズクロ」は経営改善・DX推進の情報発信、SaaS・ITサービスの比較や資料請求ができる総合メディアです。各社のDX事例や特集コンテンツも充実しており、ビジネスに役立つ情報を発信しています。

これまでのあゆみ

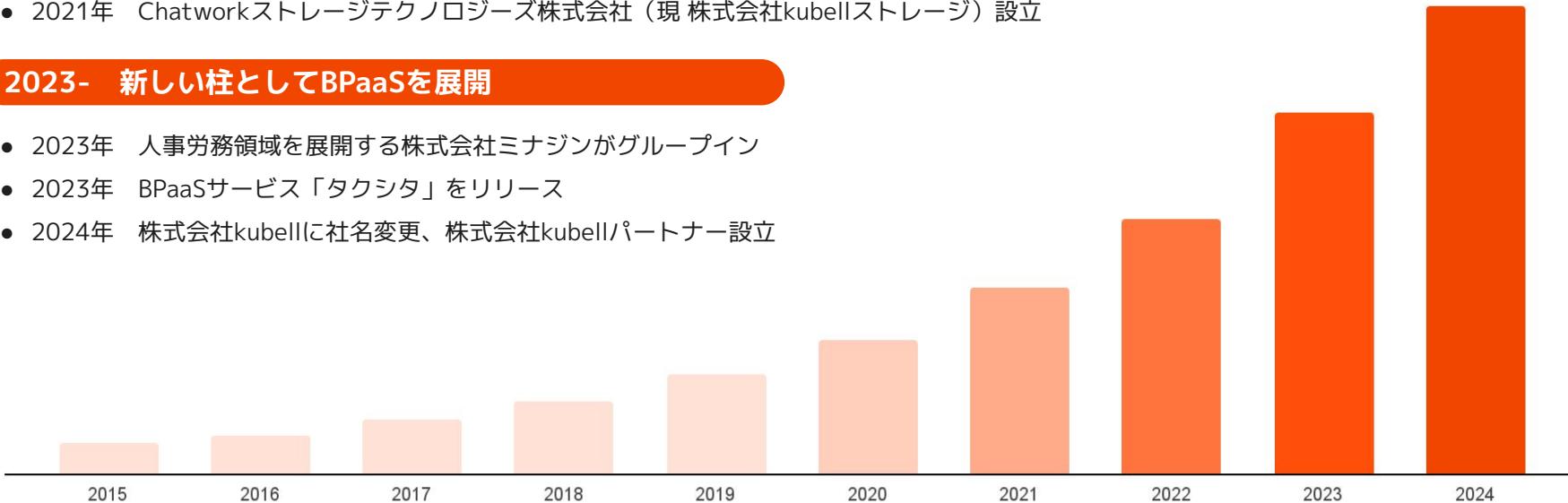
2011-2022 ビジネスチャット事業の拡大

- 2011年 ビジネスチャット「Chatwork」をリリース
- 2015-2016年 ベンチャーキャピタルなどより、計18億円を資金調達
- 2019年 東証マザーズ市場（現 東証グロース市場）に上場
- 2021年 海外募集による公募増資を実施し、約20億円を調達
- 2021年 Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社（現 株式会社kubellストレージ）設立

連結売上高
8,470百万円

2023- 新しい柱としてBPaaSを展開

- 2023年 人事労務領域を展開する株式会社ミナジンがグループイン
- 2023年 BPaaSサービス「タクシタ」をリリース
- 2024年 株式会社kubellに社名変更、株式会社kubellパートナー設立



前提となる社会背景

- 少子高齢化が極端に進む日本社会において、社会福祉を支え国際競争力を上げるには労働生産性の向上が最大の焦点
- 労働人口の68.8%^{*1}を占める中小企業において労働生産性は長期で伸び悩み、低労働生産性の根本原因となっている
- 労働生産性向上にはIT投資(DX)が重要であるが、ITリテラシーの問題が大きくITへの投資が進んでいない

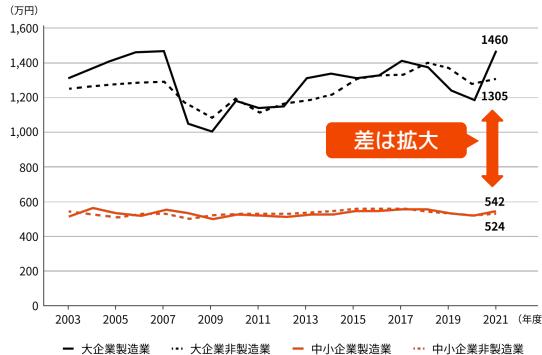
世界でも類を見ない 超高齢化社会が進む

2020年で高齢化率は世界最高の29.3%^{*2}



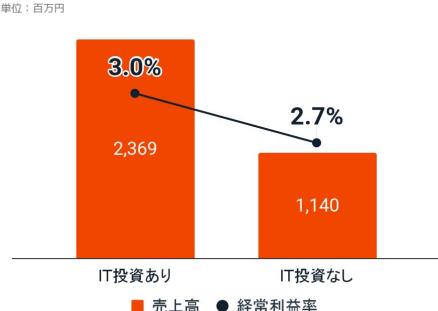
大企業と比べ極端に低い 中小企業の労働生産性

中小企業の労働生産性は横ばい
大企業との差は拡大し続けている^{*3}



労働生産性の向上には IT投資(DX)が重要

IT投資を積極的に行う中小企業の方が
売上高・経常利益率とも有意に高い^{*4}



*1 中小企業庁「平成 27 年度中小企業白書」

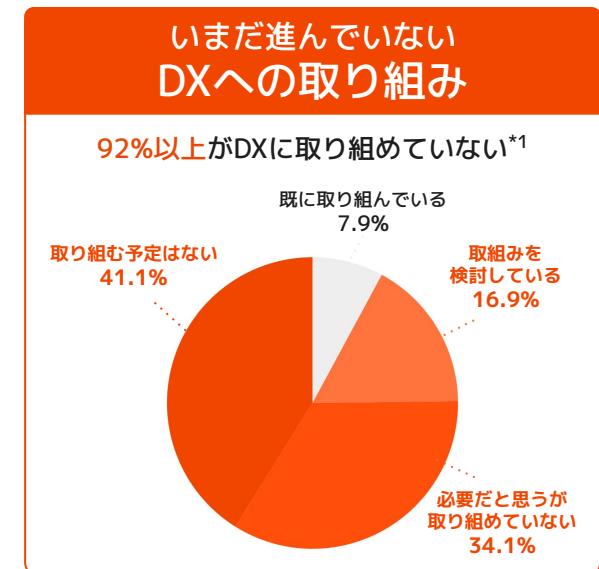
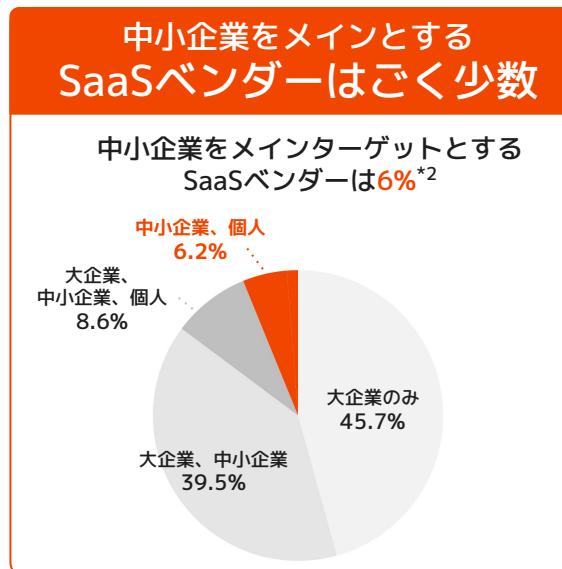
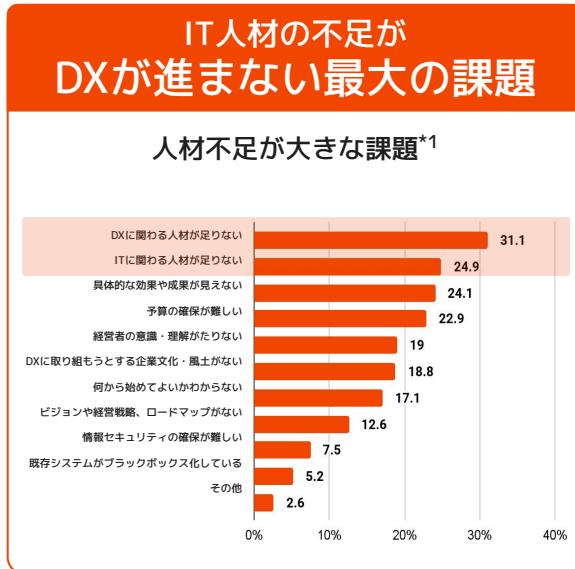
*2 総務省統計局「2024年人口統計」

*3 経済産業省「2023年版『中小企業白書』」

*4 中小企業庁「中小企業・小規模事業者の現状と課題」

中小企業においてDXが進まない理由

- 中小企業ではDXを推進できるIT人材の不足が大きな課題。業務のデジタル化が進みにくい状況にある
- 個社の規模が小さく、営業効率が悪いためSaaSベンダーのターゲットになりにくく、ニーズに合ったサービスが不足
- 結果、中小企業の約92%がいまだにDXに取り組めていない



*1 独立行政法人中小企業基盤整備機構「中小企業のDX推進に関する調査(令和4年5月)」

*2 Blossom Street Ventures「SMB is a hard road in SaaS」

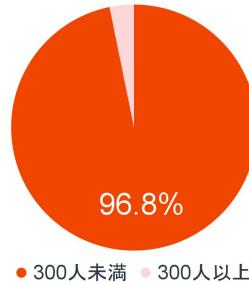
Chatworkは中小企業のDXを強力に進める稀有なSaaS

- Chatworkは約95万社、約792万IDのユーザーを獲得しており、中小企業向けSaaSとして圧倒的なポジションにいる
- 全業種・全職種の従業員が業務時間中ずっと使い続けるため、他SaaSと比較して非常に強いユーザー接点を持つ
- この高いプラットフォーム性を活かし、BPaaSを軸とした周辺サービス^{*1}の販売を展開。2024年は前年比+53.8%と大幅成長

中小企業への 圧倒的な導入実績

導入社数
95万社を突破

有料契約の96.8%が
300人未満^{*2}



ビジネスチャットを起点に 周辺サービスを展開可能

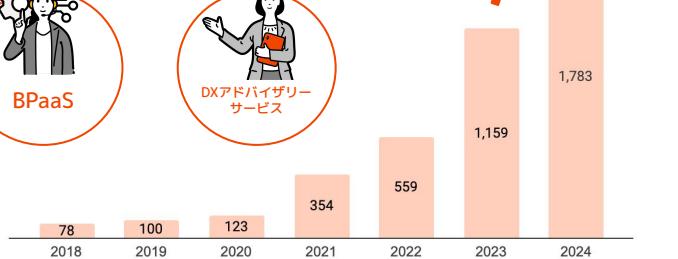
周辺サービスの売上は年々成長
BPaaSやM&Aにより急拡大



BPaaS



DXアドバイザリーサービス



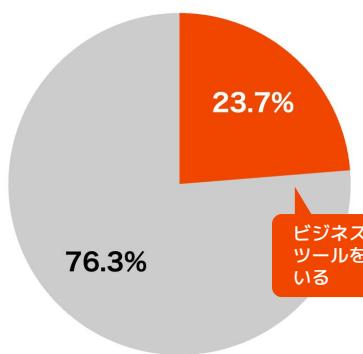
*1 セグメント詳細に関する詳細はAppendixを参照

*2 2025年9月末時点

ビジネスチャット「Chatwork」の強み

- ・ ビジネスチャット市場は潜在市場規模が大きく普及率がまだ低い、**成長余地が極めて大きな高成長マーケット**
- ・ 簡単なUIと社外と接続しやすい特徴により、DXに消極的な中小企業層に対し紹介経由でユーザー数が**複利の構造**で増加
- ・ 継続的な機能追加によるプロダクト価値の向上により、**長期にわたりARPU^{*1}**が上昇し、**解約率^{*2}**が非常に低い

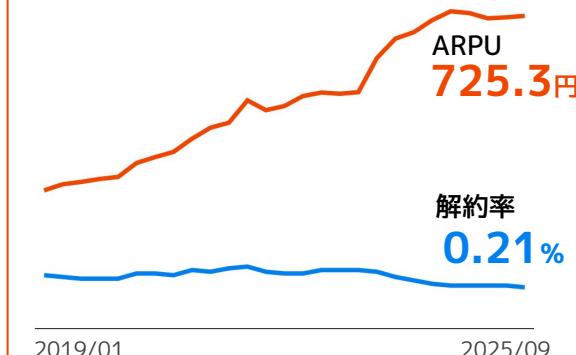
未だ低水準に止まる ビジネスチャット国内普及率^{*3}



ユーザー同士の紹介により 複利で増加するユーザー数



プロダクト価値向上による ARPUの上昇と高い定着率



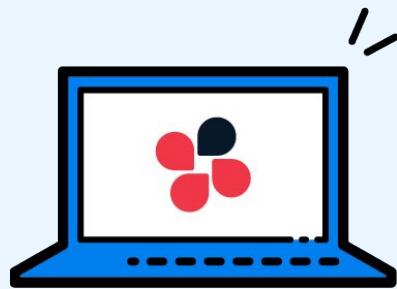
*1 Chatwork利用料の課金IDあたりの平均単価 (Average Revenue Per User)

*2 登録ID数に対しての解約率、過去12ヶ月平均

*3 当社依頼による第三者機関調べ、2025年4月調査。n=30,000

Chatworkの特徴

誰もが簡単に使える



- ITを専門としないビジネス職をメインターゲットとして、機能やインターフェイスを設計
- 複雑なカスタマイズが不要で誰もが簡単に利用可能

オープンプラットフォーム



- 社内外をひとつのアカウントでシームレスにやりとり可能なオープンプラットフォーム型を採用
- 取引先やお客様との間で利用する事例が多数

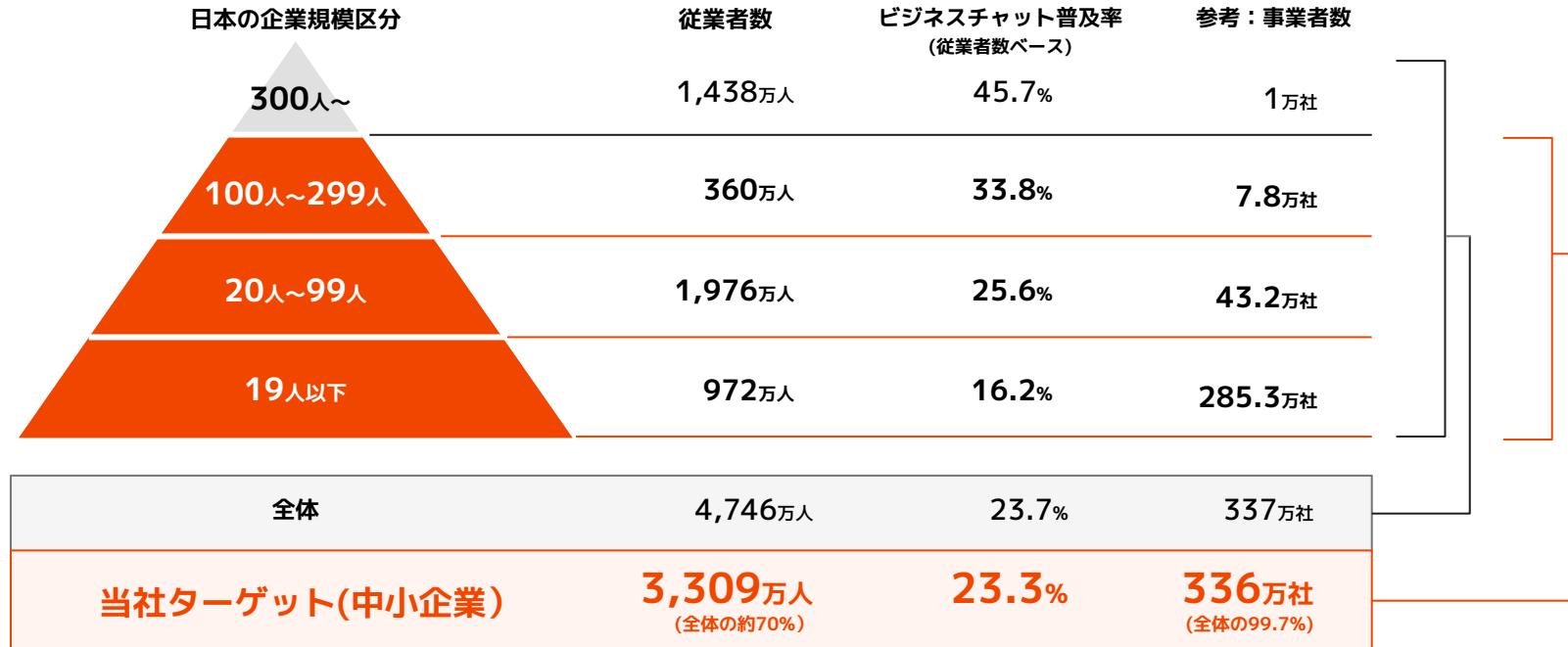
フリーミアム



- 無料で期限がなく使い続けられ、活用が進むことで有料となる"フリーミアム"モデルでサービス提供
- 無料のプランがあることで、取引先やお客様にも気軽に勧められる

中小企業の概況とビジネスチャット普及率

- 中小企業は日本全体で就労人口の約70%、事業者の99.7%を占める巨大なマーケット
- 中小企業におけるビジネスチャットの普及率は23.3%。大企業の45.7%に比べてまだ低く、大きな成長機会がある



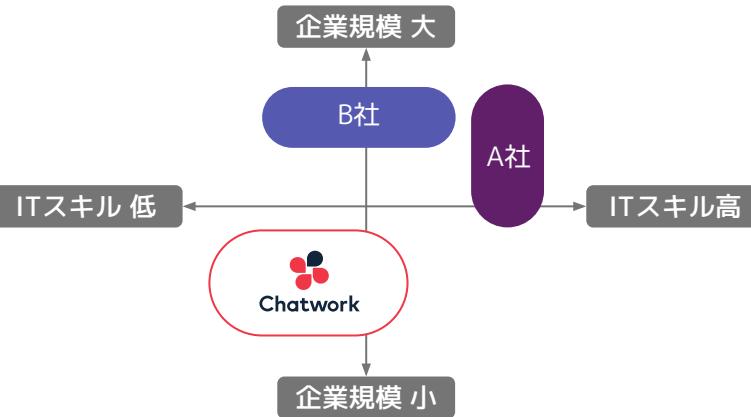
*1 中小企業庁「中小企業・小規模事業者の数（2021年6月）」と総務省「令和3年経済センサス」より当社にて推計

*2 当社依頼による第三者機関調べ。2025年4月調査。n=30,000

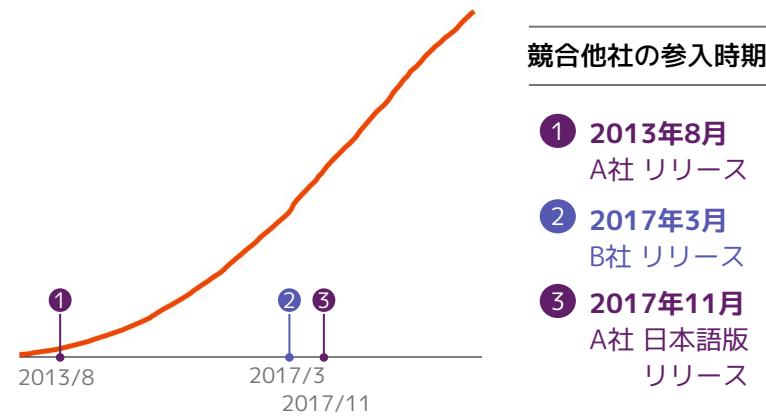
業界におけるポジショニング

- 主要な競合は2社あるが、各社の中心となるターゲット層は異なっている
- ビジネスチャットの市場浸透率が低いため、各社がそれぞれの領域で新規に市場開拓を進めている状況
- 競合他社の参入も、ユーザー数の伸びには影響していない

競合ビジネスチャットと 明確に違うターゲット層

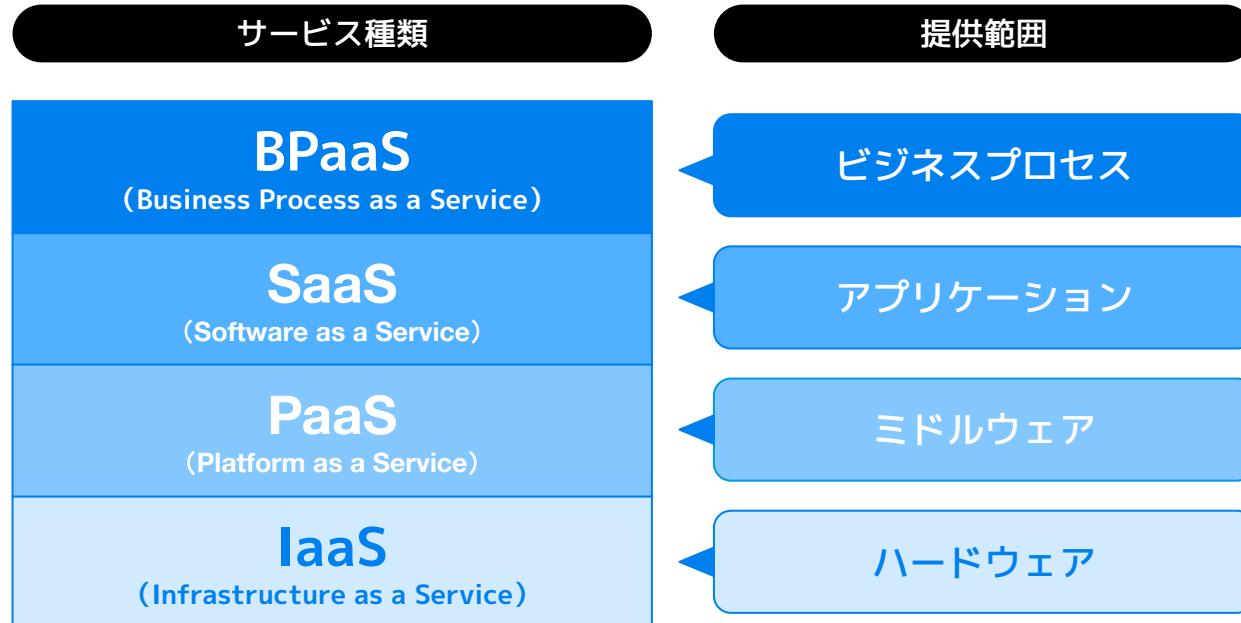


競合他社の参入も ユーザー数の伸びに影響なし



BPaaSとは

- BPaaSとは Business Process as a Service の略。ソフトウェアの提供ではなく、業務プロセスそのものを提供するクラウドサービスであり、**クラウド経由で業務アウトソーシング(BPO)**が可能
- SaaSよりさらに上流のレイヤーをクラウド化する、**次の潮流**に

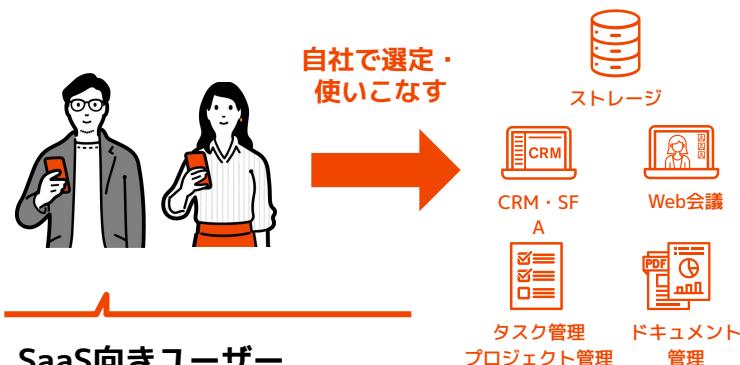


BPaaSは、中小企業のマジョリティ層DXの本命

- SaaSを選定し使いこなせるのは、ITに詳しい先進層のユーザーが中心
- 人口の3分の2以上を占めるマジョリティ市場のユーザーは、使い勝手が異なる多数のSaaSプロダクトを使い分けることは困難
- マジョリティ市場のDX実現には、業務プロセスごと巻き取り顧客に代わりSaaSやAIを使いDXを推進するBPaaSが有効

SaaS

DXによる業務課題解決を自力で



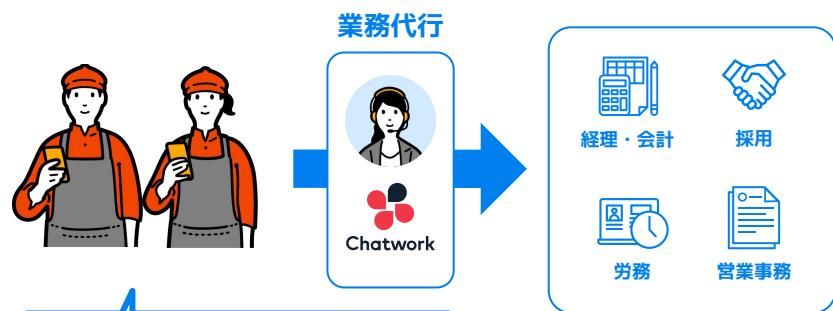
SaaS向きユーザー

ITに詳しい先進層

- ・自力でツールを選定できる
- ・経営陣も従業員も使いこなせる

BPaaS

業務プロセスごと依頼・DXも外部に依頼



BPaaS向きユーザー

マジョリティ市場

- ・SaaS導入の意思決定が困難
- ・使いこなしが困難

当社ビジネス構造の優位性

中小企業
マーケット

- 1社ごとの規模が小さく、営業効率が悪いため参入するベンダーが限られ、ニーズに合ったサービスが不足
- 中小企業にはITに不慣れな人が多く、AI、SaaSなどのテクノロジーを自力で使いこなすのが難しい企業が多い
- 結果、市場規模は大きいにもかかわらず、参入する企業が少ない「ブラックオーシャン市場^{*1}」となっている

当社ビジネス構造の特徴

ネットワーク効果による顧客拡大

- Chatworkは口コミによる効果で顧客網が自然に拡大する仕組みが確立
- シェアが大きいことそのものが価値となり、さらなる競争力に

BPaaSによるサービス提供

- ITに不慣れな方々に対し、AI・SaaSを運用代行することで本質的なDXを実現
- Chatworkをすでにご利用中の方が中心でシームレスに導入可能

ターゲットの一貫性

- 全サービスの対象顧客が中小企業で業界を問わず幅広い領域をカバー
- すでに利用しており高い知名度を持つChatworkのブランドによる安心感

効率的な顧客獲得

中小企業の特性にフィット

クロスセルが容易

当社
優位性

顧客獲得コストが最小化され、1顧客あたりのLTV^{*2}を拡大していく構造
顧客あたりの採算性は極めて高い

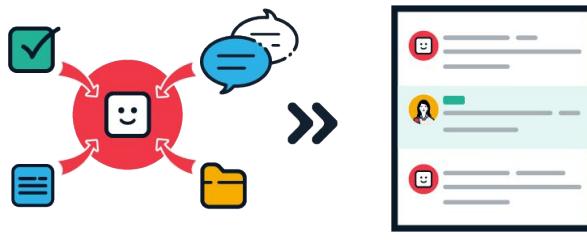
*1 光が届かない深海のように、参入障壁がとても高く競争が激化しづらい未開拓の市場。難易度は高いが、勝てる構造をつくれば独占的なポジションを獲得できる

*2 Life Time Valueの略。顧客生涯価値を意味し、1人の顧客が長期にわたって取引する累計額のこと

AIの急激な進化とチャットの可能性

- ChatGPT^{*1}に代表されるLLMベースの革新的な技術進化により、AIを使った高度な文書理解および多様なタスク実行が可能に
- チャットの価値が大幅に向上し、過去のメッセージデータを学習させた文面生成や要約、AIとの対話機能などの提供を検討
- さらにはBPaaSの展開において、ユーザーとの対話や依頼実行をAI化することにより、劇的な生産性の向上を目指す

ChatworkへのAI組み込みイメージ



Chatworkの
データを学習

文面生成や
対話が可能に

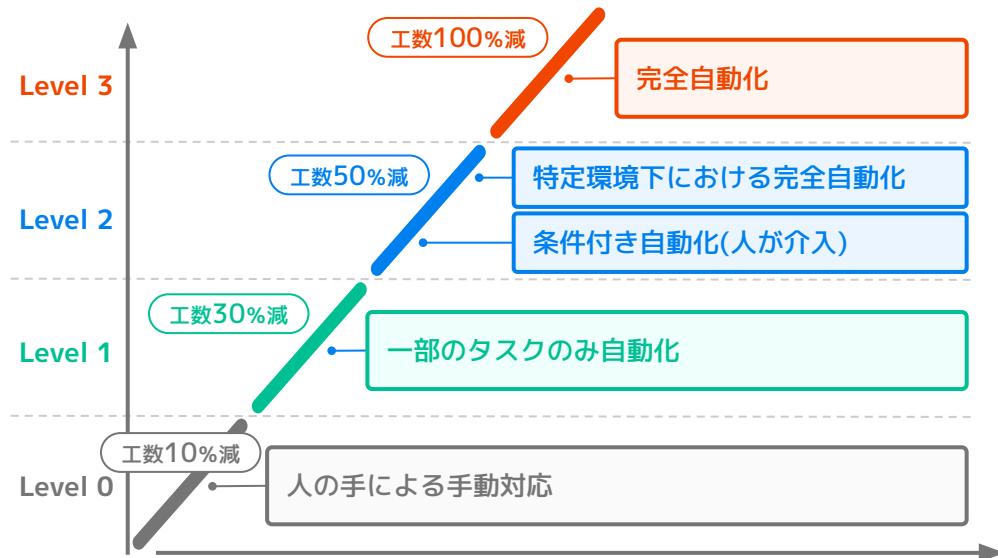
OpenAI

Gemini

Claude

Copilot

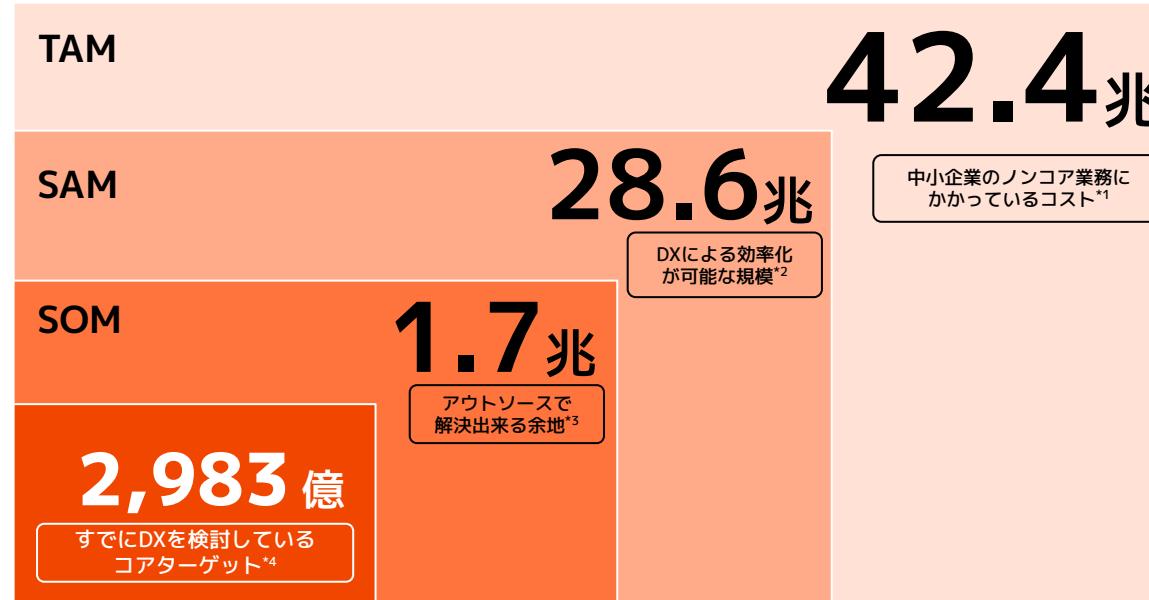
BPaaSの自動化レベル



*1 米Open AIが2022年11月に公開した対話型人工知能（AI）サービス。膨大な文書データを学習し、チャット形式で質問に回答したり多様なタスクに1つのモデルで対応できることが特徴

ビジネスチャットを含むBPaaSの潜在市場規模（TAM）

- BPaaS市場は圧倒的に巨大で、コミュニケーション領域を含む中小企業のノンコア業務の規模は42.4兆円に上る
- すでに顕在化しているコアターゲットだけでも2,983億規模となり、事業成長可能性が極めて高いマーケット



*1 給与所得者数：4,494万人(国税庁令和4年民間給与実態統計調査結果) × 中小企業で働く従業者数割合：68.8%(総務省平成28年経済センサス) × 中小企業平均給与：392万円(厚生労働省) × ノンコア業務割合平均：31.9% (当社調べ等)

*2 TAM × DXによる業務時間削減の割合：67.6% (当社調べ等)

*3 SAM × DXの課題認識があるがまだ取り組んでいない中小企業の割合：48.2% (独立行政法人中小企業基盤整備機構) × 中小企業の費用における外注費の割合：13.0% (平成18年経済産業省企業活動基本調査)

*4 SOMを「DXの取り組みを検討している中小企業」に絞った割合：16.6%(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

ミッション・ビジョンと事業のつながり

MISSION

働くをもっと
楽しく、創造的に

ビジネスチャットの接点を足がかりにBPaaS事業を展開し、
ノンコアビジネスを巻き取ることで、
働く人がやりたいことに集中できるように

飲食業であれば「おいしいものをつくる」、
製造業であれば「いいものをつくる」ことに注力できるようになり、
働くことそのものが楽しく創造的になって、社会を豊かに

VISION

すべての人に、
一歩先の働き方を

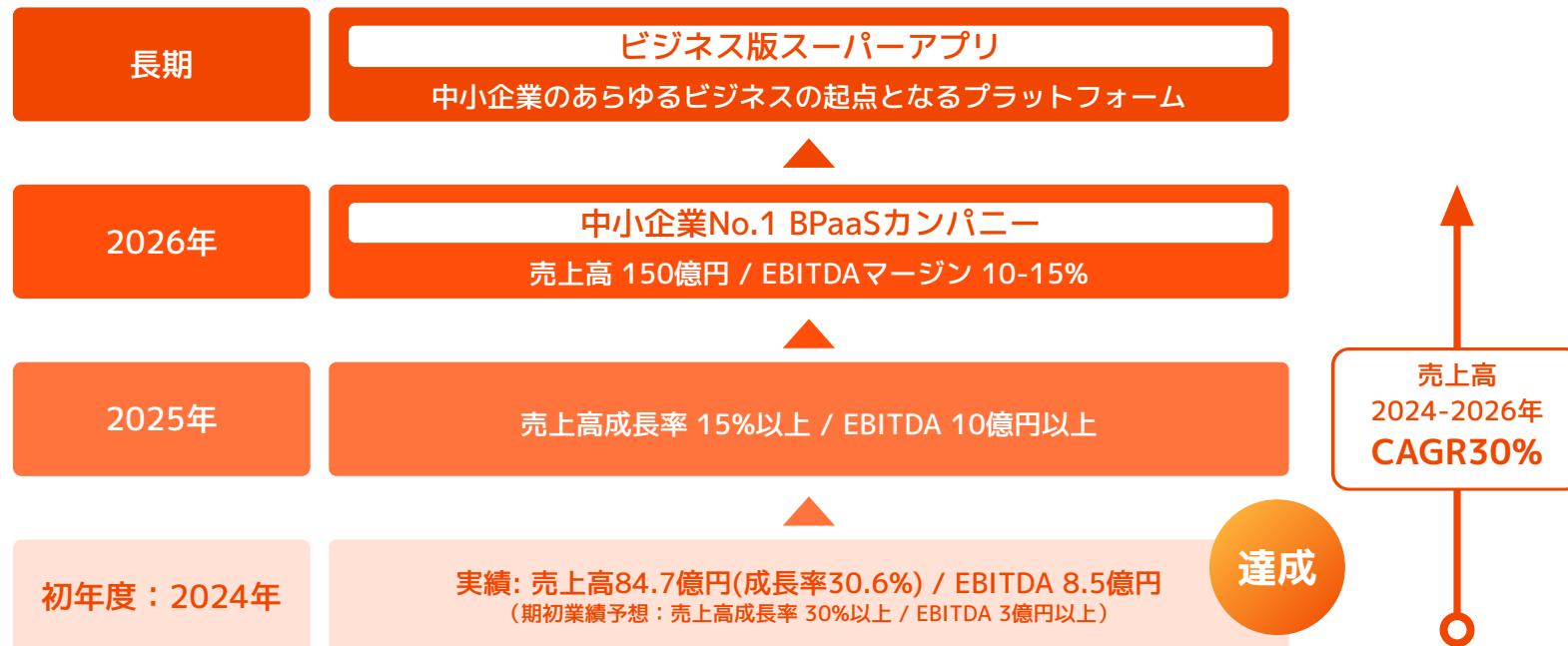
労働人口の約70%を占め、DXが進まず歩みが止まってしまっている
中小企業に対し、BPaaSを展開することで
ITツールの習熟不要でDXを可能に

中小企業全体の本社機能を担うことで生産性を劇的に引き上げ、
少子高齢化に伴う社会福祉を支えるとともに、
社会全体が一歩先へと歩み続ける、明るい希望が持てる社会へ

02 | 中期経営計画

中期経営方針

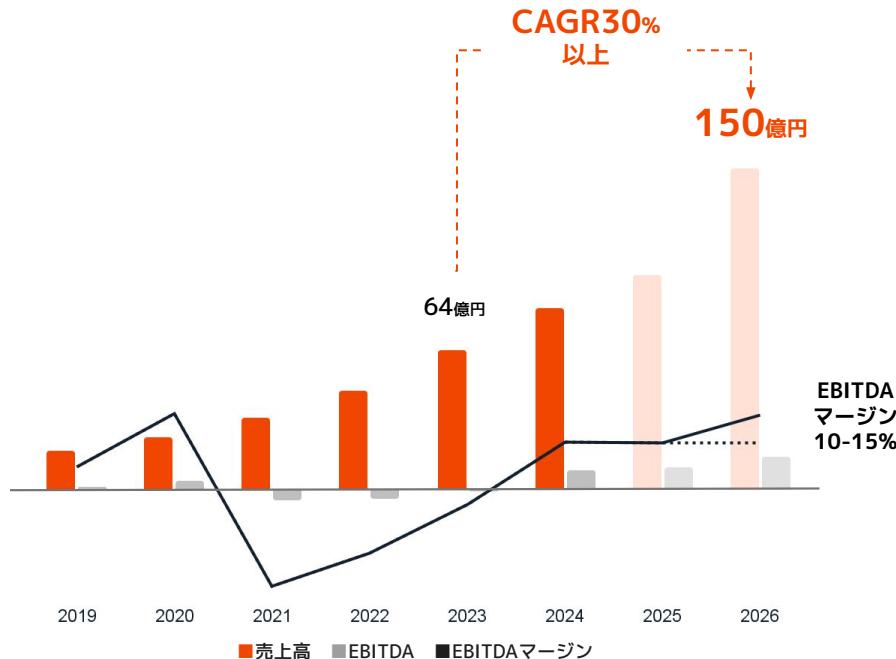
- 2026年までに**中小企業No.1 BPaaSカンパニー**のポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となる**ビジネス版スーパーアプリ**としてプラットフォーム化していくことを目指す
- 初年度(2024年)は売上高成長率、EBITDAいずれも期初に開示した業績予想を達成



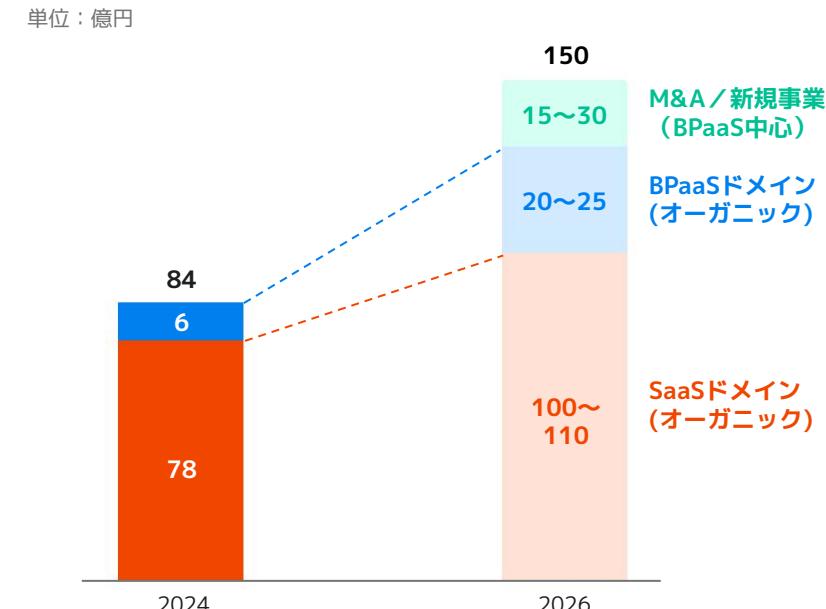
中期経営計画

- 中期経営計画の財務目標は、2026年で売上高150億円（CAGR30%以上）、EBITDA15～22.5億円（マージン10～15%）
- ビジネスチャットの売上成長を継続しつつ、次の成長の柱であるBPaaSの売上急拡大、新規事業によって2026年の売上達成を目指す
- 当初はM&A等を除くオーガニックでの目標達成を前提としていたが、BPaaS領域でのM&Aロールアップ戦略による成長の蓋然性が高まったため、2025年度第1四半期にM&Aの実施を含んだ財務目標へと修正

連結売上高・EBITDA・EBITDAマージン



2026年売上高150億円の内訳



中長期の財務ターゲット

- 中長期の財務ターゲットとして、EBITDAマージン25～40%、営業利益率15～30%を想定
- マーケティングやセールスの共通化、プロダクトによるグロース強化によるS&M比率を抑制、G&A比率のコントロールによる高利益体質を実現しつつ、売上高の高成長も合わせて持続していく方針

	2024年 (実績)	2025年 (計画)	2026年 (計画)	中長期 ターゲット
Direct Cost ^{*1}	18%	20%	20%	20-25%
限界利益率	82%	80%	80%	75-80%
S&M ^{*2}	32%	26-28%	24-28%	15-20%
R&D ^{*3}	17%	16-18%	16-18%	15-20%
G&A ^{*4}	23%	22-24%	20-24%	10-15%
EBITDAマージン	10%	10-12%	10-15%	25-40%
償却費	9%	9-10%	9-10%	10%前後
営業利益率	1%	1-3%	1-5%	15-30%

*1 サーバー費用、支払手数料、BPaaSオペレーターおよびカスタマーサポートに関わる人件費など償却費用を除いた管理会計上の売上原価の合計

*2 Sales and Marketing比率の略称。販売促進に係る広告宣伝費やセールス人員の人件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

*3 Research and Development比率の略称。サービス開発に係るエンジニアの入件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

*4 General and Administrative比率の略称。コーポレート部門の入件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

中期経営計画における3つの戦略

- ビジネスチャットをコミュニケーションプラットフォーム戦略により価値向上させ、そのプラットフォーム上で様々なビジネス展開を可能とするBPaaS戦略を推進
- グループのアセットを活かした新規事業や、AIを活用した研究開発などを行っていくインキュベーション戦略により、さらなるコア事業の創出や非連続成長を狙う

コミュニケーション プラットフォーム戦略

PLG

PLG^{*1}モデルによる高効率なグロースを推進

チャットでの接点を持つ高価値なプラットフォームへ

PLGを推進し、ユーザー数の極大化とアクティブ率を向上させることで、中小企業領域において他に類を見ない高価値なプラットフォームの確立を目指す

BPaaS戦略

BPaaS

BPaaSにより業務ごと巻き取り

マジョリティ市場に本質的なDXを

BPaaSを展開し、Techと人をハイブリッドした高い生産性のオペレーションを確立させ、経営における幅広い領域での本質的なDXを実現する

インキュベーション戦略

R&D

独自のアセットやポジショニングを更に強化

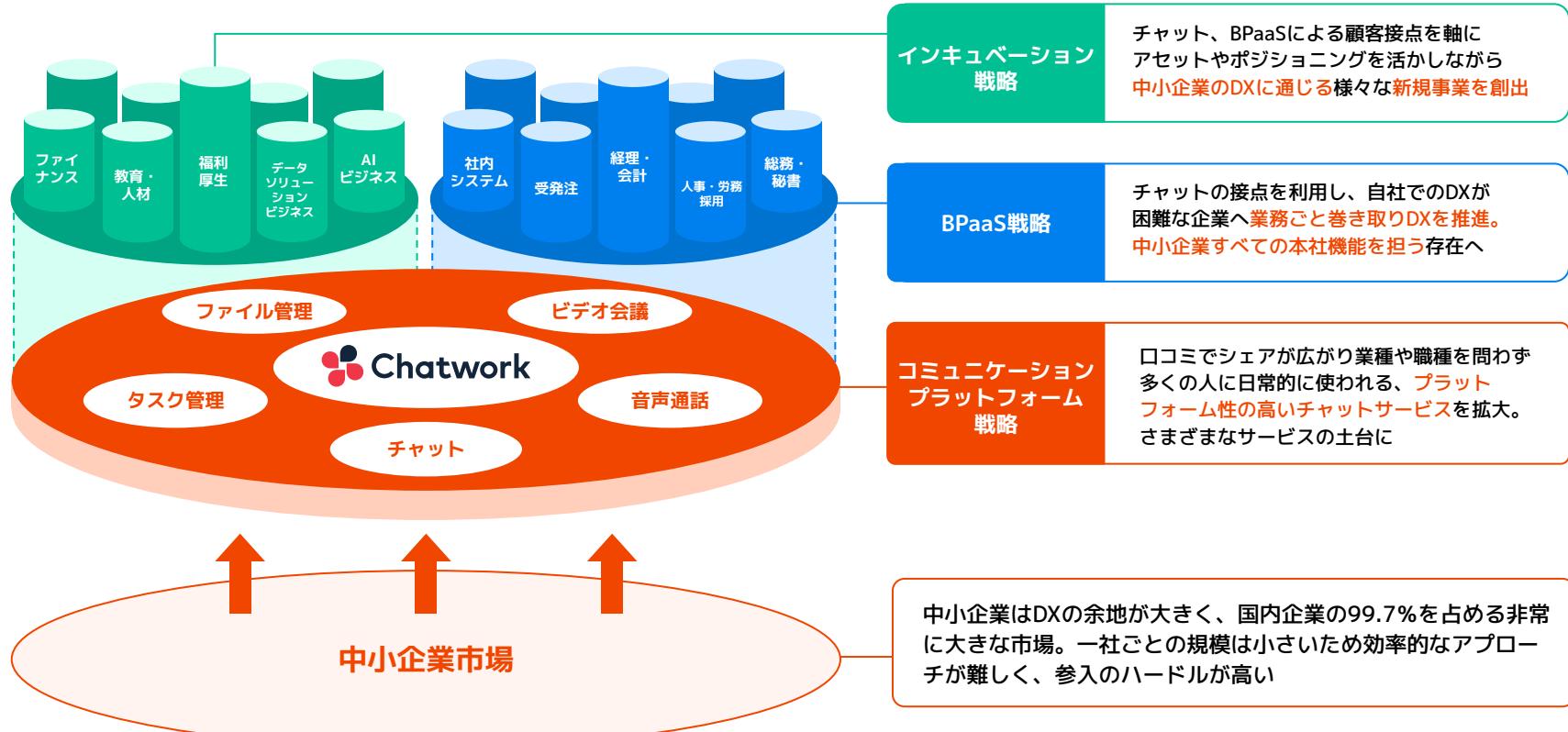
非連続な成長の柱となる付加価値の創造

R&Dを進め、グループのアセットやポジショニングを活かし、ターゲットの拡張も意識した事業展開やAIを活用した研究開発を推進することで、非連続成長の柱となる付加価値を創造する

*1 Product-led Growthの略。米国で注目されているSaaSの成長戦略で、プロダクトを通して顧客獲得をおこなう。旧来型のセールスが牽引する成長戦略をSLG (Sales-Led Growth) と呼び区別している

3つの戦略の関係性・つながり

ビジネスチャットを基盤に、BPaaS領域および新規事業を連続的に展開



03 | 2025年12月期第3四半期業績

ハイライト

業績予想を修正、売上は想定レンジを下回るも利益は上振れ

売上高は94.8億円（前年比+12%）の成長、EBITDAは13.1億円（同+52.9%）を見込む

..... P.31

連結売上高は堅調に推移、EBITDAは増益を達成

売上高は前年同期比+10.4%と着実な成長を維持する一方、EBITDAは同+18.3%と力強く成長

..... P.34

Chatworkユーザー基盤拡大とサービス強化に向け複数施策が進捗

クロスセル基盤の整備、他社サービスとの連携、登録完了率を向上させる施策などが順調に進む

..... P.58~60

BPaaSドメインにおいて新サービス「タクシタ採用」を提供開始

8月より中小企業の採用課題解決を支援するRPO（採用代行）サービスを開始

..... P.61

業績予想の修正

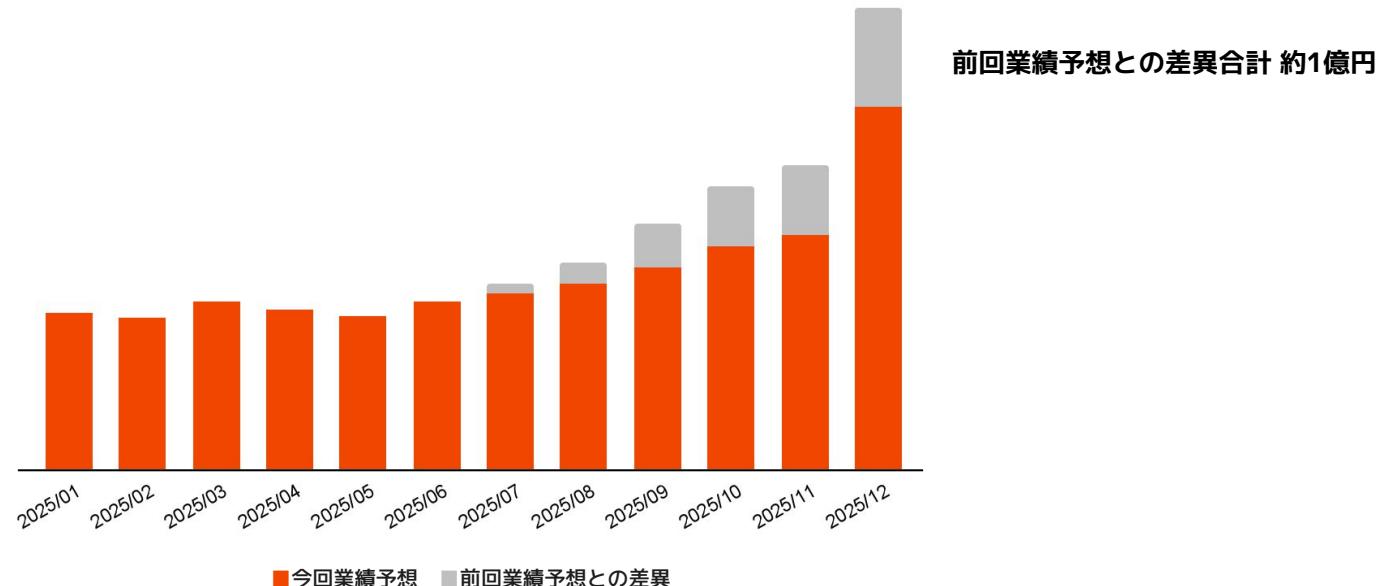
- 通期の業績見通しの確度が高まったことを受け、通期業績予想を成長率でのレンジでの開示から**単一金額での開示**に修正
- 売上高はBPaaSドメイン 労務領域の受注が想定より遅れていることで、**前年比+12%**の成長を見込む。セキュリティ事業廃止による影響を除いた実質的な成長率は**同+14.0%**
- EBITDAは**13.1億円（前年比+52.9%）**、営業利益は**4.3億円（同+345.1%）**といずれも前回業績予想レンジを上回っての着地を見込む

単位：百万円	2024年12月期 実績	2025年12月期 前回業績予想	2025年12月期 業績予想	前年比
売上高	8,470	9,571～9,826	9,485	+12.0%
売上総利益	5,843	6,344～6,599	6,469	+10.7%
EBITDA	856	1,005～1,300	1,310	+52.9%
営業利益	96	120～414	431	+345.1%
経常利益	75	100～395	404	+435.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,172	-236～41	75	-

業績予想 売上高修正の主な要因

- BPaaSドメインの労務領域におけるオペレーターの体制が不足し、サービス品質維持のため新規受注を一時的に停止したことが要因
- 下期にかけて積極的な採用および外部リソースの活用などを行い売上ペースを回復させることはできたが、計画には届かず
- 遅れば出たものの、今回事象をもとに体制を再構築したことと、今後より安定的な成長につなげていく機会となった

BPaaSドメイン 労務領域 売上高見込



KPIハイライト

全社

ARR

91.2 億円

前年比+11.5%

SaaSドメイン

ARR^{*1}

79.3 億円

前年比+6.6%

Chatwork 登録ID数

792.7 万

前年比+9.8%

BPaaSドメイン

ARR^{*2}

11.9 億円

前年比+60.1%

導入社数

95.4 万

前年比+11.2%

Chatwork 課金ID数

83.4 万

前年比+8.6%

Chatwork ARPU^{*3}

725.3 円

前年比-1.4%

売上高

309 百万円

前年比+60.7%

*1 ソフトウェアを通じた月額課金モデルに関わる事業・サービス・その他事業におけるAnnual Recurring Revenue（年間経常収益）。SaaSドメインの当四半期ストック売上高×4

*2 BPOをオンラインで実現するモデルに関わる事業・サービスにおけるAnnual Recurring Revenue（年間経常収益）。BPaaSドメインの当四半期ストック売上高×4

*3 Chatwork利用料の課金IDあたりの平均単価（Average Revenue Per User）

業績サマリー（四半期）

- 売上高は前年同期比+10.4%と堅調に推移。セキュリティ事業廃止による影響を除いた実質的な成長率は同+12.0%
- 売上高の伸長に加え、引き続き利益率の改善が進んだことにより、EBITDAは前年同期比+18.3%、営業利益は同-19.0%

単位：百万円	Q3 '24 (前年同期)	Q2 '25 (前四半期)	Q3 '25 (当四半期)	前年同期比	前四半期比
売上高	2,189	2,297	2,416	+10.4%	+5.1%
SaaSドメイン	1,996	2,051	2,106	+5.5%	+2.7%
BPaaSドメイン	192	246	309	+60.7%	+25.7%
売上総利益	1,558	1,536	1,731	+11.1%	+12.7%
売上高マージン	71.2%	66.9%	71.7%	+0.5pt	+4.8pt
EBITDA	298	292	352	+18.3%	+20.6%
売上高マージン	13.6%	12.7%	14.6%	+1.0pt	+1.9pt
営業利益	157	70	127	-19.0%	+79.6%
売上高マージン	7.2%	3.1%	5.3%	-1.9pt	+2.2pt
経常利益	153	62	119	-22.3%	+91.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	110	14	59	-45.6%	+315.1%

*1 EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形資産償却費 + 株式報酬費用

業績サマリー（累計）

- 売上高は前回業績予想に対し進捗率は70.7～72.6%。労務管理BPaaSの受注が想定より遅れていることで計画を下回るペースで進捗
- EBITDAは前回業績予想に対し進捗率は71.6～92.6%と、計画を上回るペースで進捗

単位：百万円	Q3 '24 (累計)	Q3 '25 (累計)	前年同期比	前回業績予想	進捗率
売上高	6,184	6,948	+12.4%	9,571 ~ 9,826	70.7～72.6%
SaaSドメイン	5,741	6,174	+7.5%	-	-
BPaaSドメイン	442	773	+74.8%	-	-
売上総利益	4,263	4,757	+11.6%	6,344 ~ 6,599	72.1～75.0%
売上高マージン	68.9%	68.5%	-0.4pt	66.3～67.2%	+1.3～2.2pt
EBITDA	611	931	+52.3%	1,005 ~ 1,300	71.6～92.6%
売上高マージン	9.9%	13.4%	+3.5pt	10.5～13.2%	+0.2～2.9pt
営業利益	184	274	+48.6%	120 ~ 414	66.1～228.4%
売上高マージン	3.0%	3.9%	+0.9pt	1.3～4.2%	-0.3～2.6pt
経常利益	169	251	+48.4%	100 ~ 395	63.7～249.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	134	45	-66.6%	-236 ~ 41	108.6% ~

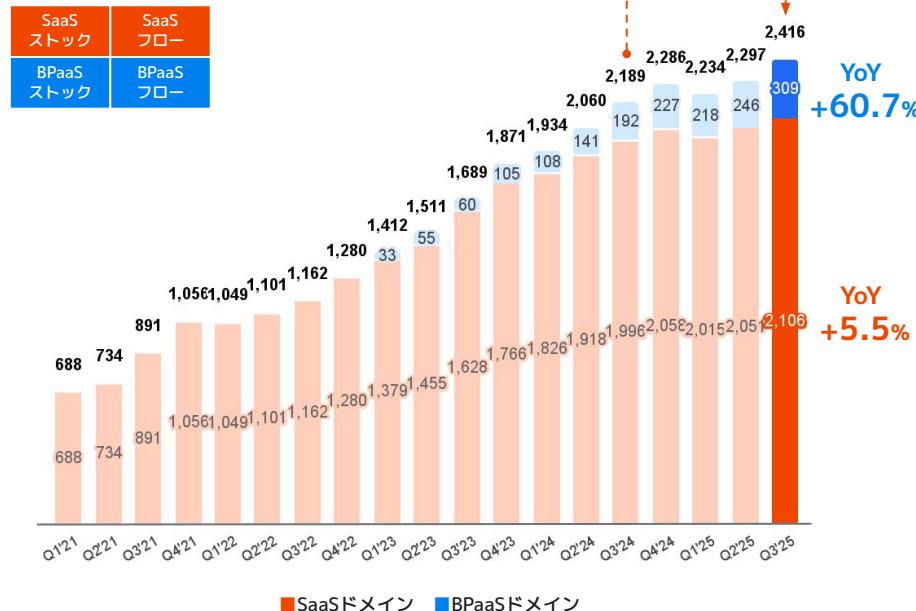
*1 EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形資産償却費 + 株式報酬費用

連結売上高推移

- SaaSドメイン売上高は前年同期比+5.5%。セキュリティ事業廃止の影響を除くと同+7.2%となり、安定した成長を継続
- BPaaSドメイン売上高は前年同期比+60.7%と高い成長率を維持し、全社の成長を力強く牽引
- 売上収益の約95%を占めるストック売上は前年同期比+11.5%と順調に積み上がっており、売上全体の安定性に貢献

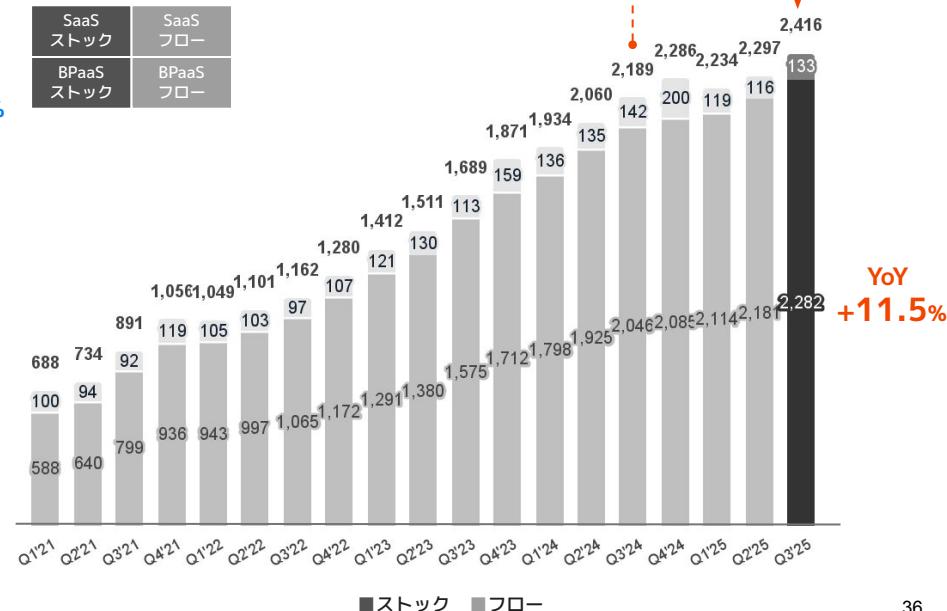
連結売上高（ドメイン別）

単位：百万円



連結売上高（ストック・フロー別）

単位：百万円

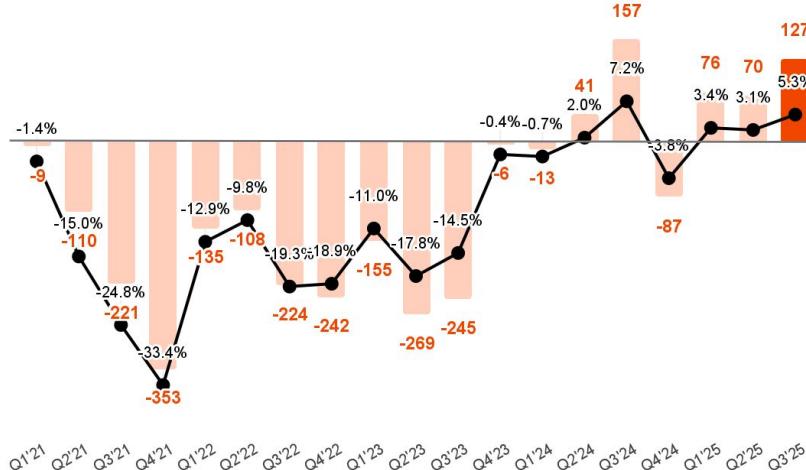


営業利益・EBITDA推移

- 広告宣伝費や業務委託費を中心としたコスト構造の最適化を進め、**営業利益は127百万円**と改善トレンドが続く
- EBITDAは、**前年同期比+18.3%の352百万円**へと増加。EBITDAマージンは14.6%と中期経営計画で掲げる2026年の目標レンジ(10~15%)の水準を前倒しで達成

営業利益

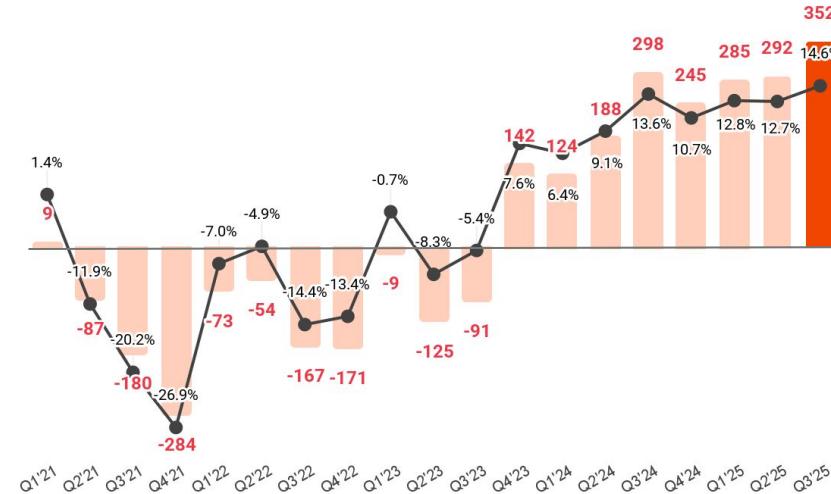
単位：百万円



■ 営業利益 ● 営業利益率

EBITDA

単位：百万円



■ EBITDA ● EBITDAマージン

IRメール配信登録

- 当社をより深く理解いただくため、適時開示以外にも各メディアにて情報を配信中
- IRメール配信登録いただくことで、より便利に当社のIR情報を確認が可能



海外BPaaS事例と当社BPaaS戦略

こんにちは。株式会社kubellのIRです。こちらのnoteでは、投資家の皆様への情報発信の強化とフェアディス...

1か月前

9 11

投資家質疑応答

「BPaaS」について質疑応答形式でご説明します

投資家質疑応答

2024年度第1四半期決算発表の投資家質疑応答

「BPaaS」について質疑応答形式でご説明します

2023年度通期決算発表の投資家質疑応答

マガジン



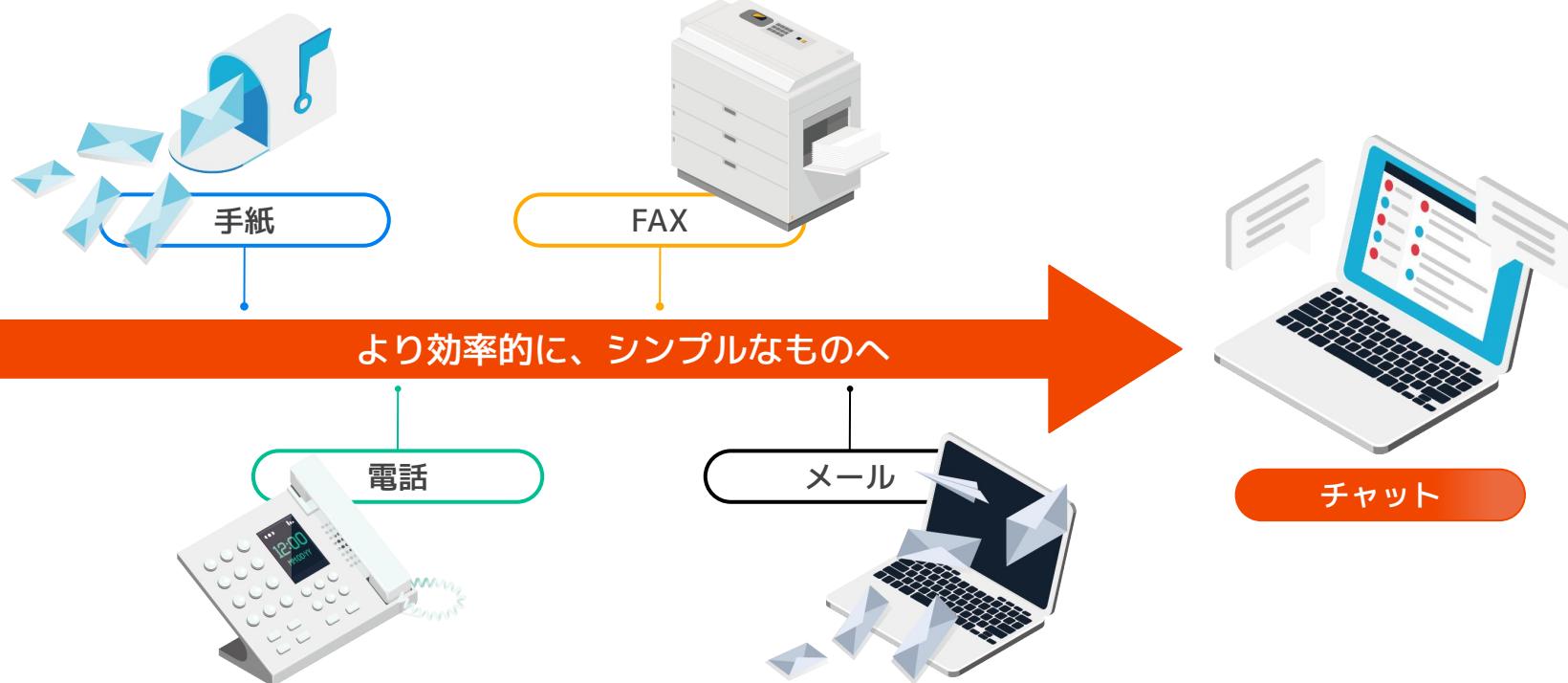
働くをもっと楽しく、創造的に



Appendix1 | サービス詳細

ビジネスチャット「Chatwork」

コミュニケーションツールの変化



コミュニケーション手段の違いによる文面の違い

- メールは形式的な挨拶や定型文が多く、本題にたどり着くまでに時間と工数がかかる
- ビジネスチャットは、伝えたい内容を簡潔かつ迅速に共有可能

メール

【ご挨拶】先日はどうも有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

石井太郎 / 株式会社kubell
To 中村浩一
中村様

いつもお世話になっております。
Chatwork株式会社の石井でございます。

先日のカンファレンスではお声がけいただき、
大変有り難うございました。

弊社の田中からも以前より中村さんのお話を伺っておりましたため、
突然ではありましたが、お会いでき大変ありがとうございました。

今後私からも担当業務に関連してご連絡させていただくことがあるかと思います。
その際はどうぞよろしくおねがいします。

さて、田中にご質問いたしておりました件、担当は私となりますので、
石井より回答させてもらいます。

◆納期について
・弊社内で調整ののち、ご要望通り今週中、ということで対応可能です。
・納品はチャット経由でよろしかったでしょうか？御社ご指定のルールがあればご教示ください。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

--

株式会社kubell <https://corp.chatwork.com/ja/>
石井 太郎
Chatwork ID: http://chatwork.com/xxxxxx

宛先
お決まりの挨拶・自己紹介
先日のお礼と何の件かについて
伝えたい部分
お決まりの締め
署名

ビジネスチャット

【臨時】カンファレンス打ち合わせ

①タスクを完了しました。
ミーティングの議題について確認
【議題】
期限 2019年11月29日

2020年2月12日 18:28 石井太郎 標題はありません

2020年2月12日 18:27 石井太郎 こんにちは

昨日の講義はいかがでしたか？

2020年2月12日 18:27 中村浩一 講義の内容をご確認ください。
您

2020年2月12日 18:28 石井太郎 了解です！確認後に、またご質問させていただきます。

18:31 中村浩一さん
◆納期について
・弊社内で調整ののち、ご要望通り今週中、ということで対応可能です。
・納品はチャット経由でよろしかったでしょうか？
御社ご指定のルールがあればご教示ください。

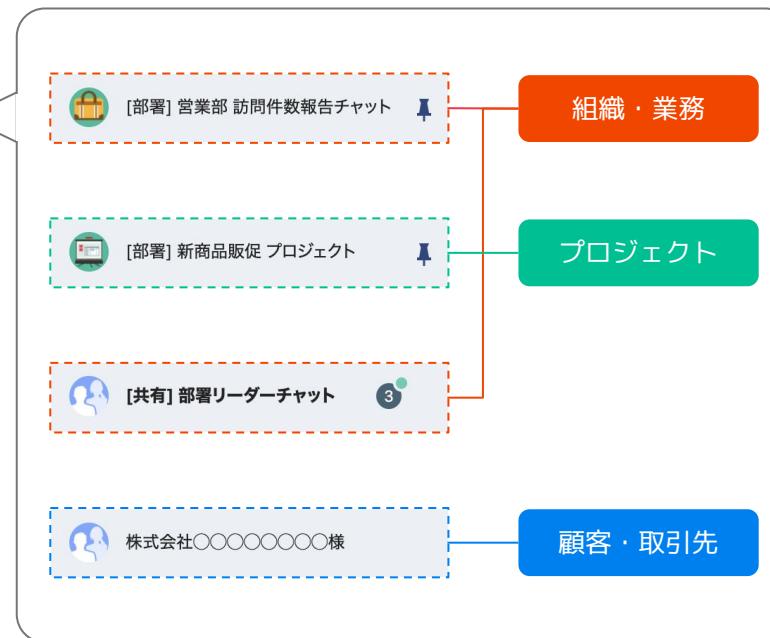
TO 口 Enterで送信 送信

ここにメッセージ内容を入力
(Shift + Enterキーで送信)

ビジネスが加速するクラウド会議室



目的に応じて グループチャット(会議室)を作成



- グループチャット内で必要なメンバーと複数人と同時にやり取りができる、情報共有がスムーズにできる
- 複数のプロジェクトなど、同時に相談でき会議の効率化につながる
- 顧客や取引先とも密なコミュニケーションが取れるので、心理的な距離が近づく

「Chatwork」が実現したい世界

シゴトがはずむ

コミュニケーションが活性化すると会話がはずむように、
ビジネスの現場を活性化させていくことで、
仕事をもっとワクワク、
心がはずむものに変えていきたい。

ユーザーの働き方を誰よりも深く理解し、
いつでも、どんな場所でも、
やりたいことに集中できる働き方の提供を通して、
ビジネスを活性化させる存在へ。



ブランドムービー「かわる、はじまる Chatwork」

1人ひとりの成功をテクノロジーの力で導き、ビジネスを活性化させる存在になりたいという想いをブランドムービーで表現しています。ぜひ、ご覧ください。



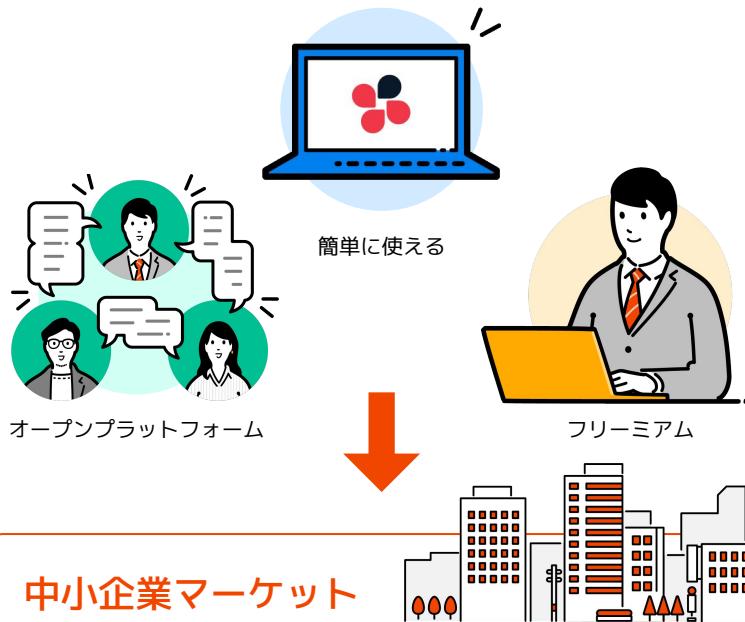
<https://youtu.be/3NHp8caltK0>

プラン・料金

フリー 無料で試したい企業・個人向け	ビジネス 業務で利用したい企業・個人向け	エンタープライズ 管理機能を強化したい企業向け
1ユーザー/月	1ユーザー/月（年間契約）	1ユーザー/月（年間契約）
¥0 *****	¥700 月額契約の場合は¥840/月	¥1,200 月額契約の場合は¥1,440/月
組織外コンタクト数20人まで/1ユーザーあたり	コンタクト無制限	コンタクト無制限
グループチャット無制限	グループチャット無制限	グループチャット無制限
1対1での ビデオ通話 / 音声通話	14人までの ビデオ通話 / 音声通話	14人までの ビデオ通話 / 音声通話
直近40日以内の メッセージ閲覧可能	メッセージ閲覧 制限なし	メッセージ閲覧 制限なし
10GBストレージ / 1組織	10GBストレージ / 1ユーザー	10GBストレージ / 1ユーザー
ユーザー数：100人まで / 1組織	ユーザー数：無制限	ユーザー数：無制限
—	—	セキュリティ管理機能

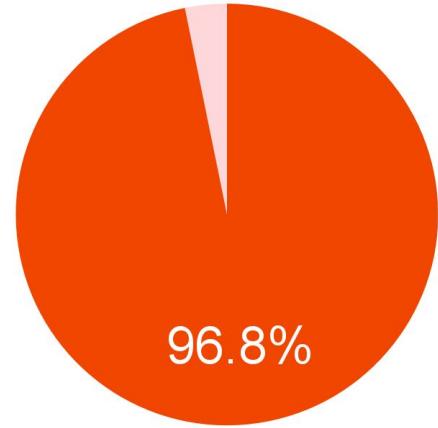
* 従来提供していたパーソナルプランの新規お申し込みは2021年1月末日に終了。ビジネスプランの最低利用人数を5人以上から1人に変更し、個人でもビジネスプランの利用を可能とした上で、既存ユーザーをビジネスプランへ統合。ただし、株主優待でのみ有償パーソナルプランを提供

中小企業マーケットにフィット



- ITに詳しい人が社内に少ない
- ITにかけられる予算がない
- 取引先や顧問先と同じツールを使いたい

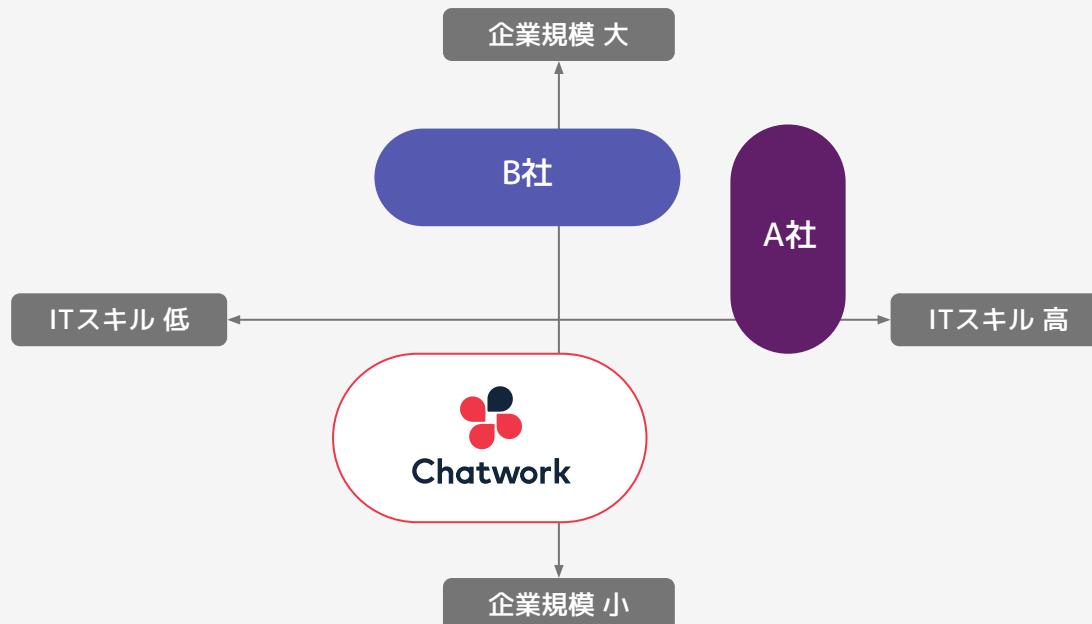
Chatworkの企業規模別
有料ユーザー割合



有料ユーザーのうち、ユーザー数ベースで
300人未満の契約が96.8%を占める^{*1}
※中小企業が大半であり、個社依存が少なく安定

業界におけるポジショニング

ターゲット層

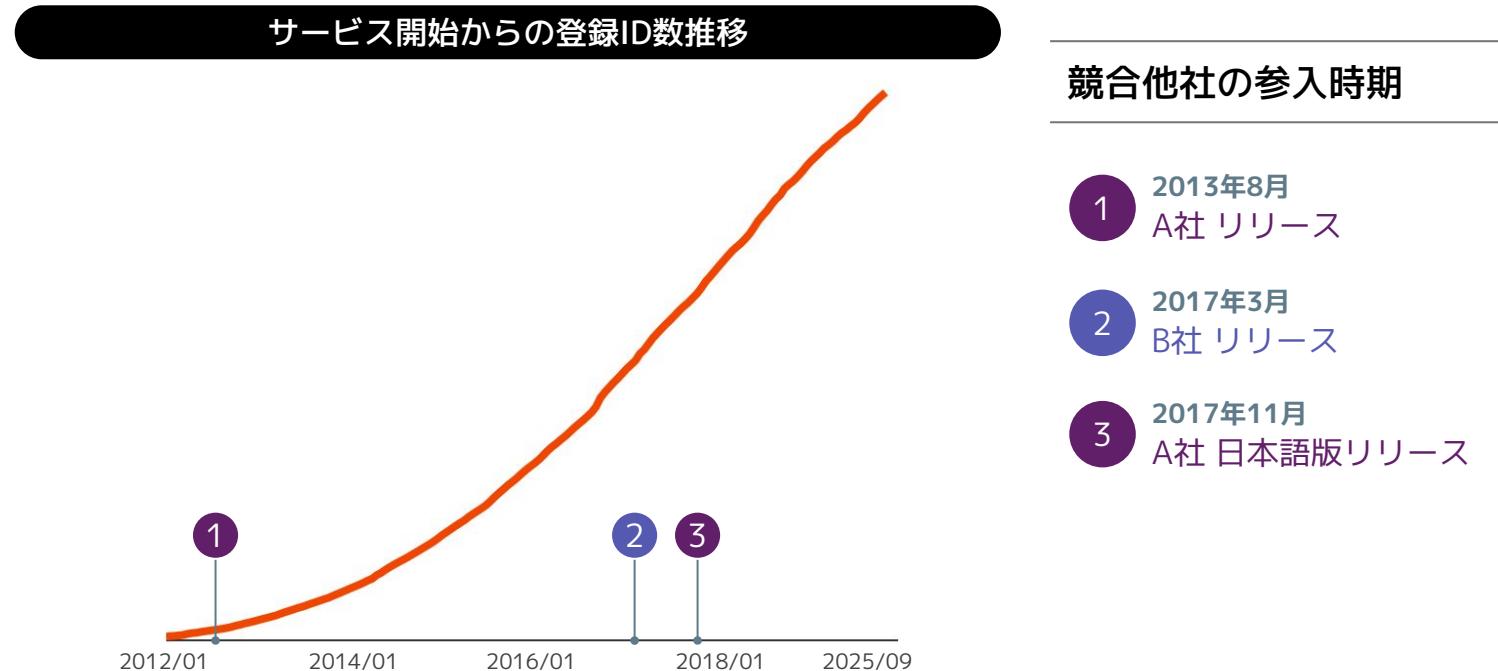


- 主要な競合は2社あるが、各社の中心となるターゲット層は異なっている
- ビジネスチャットの市場浸透率が低いため、各社がそれぞれの領域で新規に市場開拓を進めている状況

当社サービスの強み

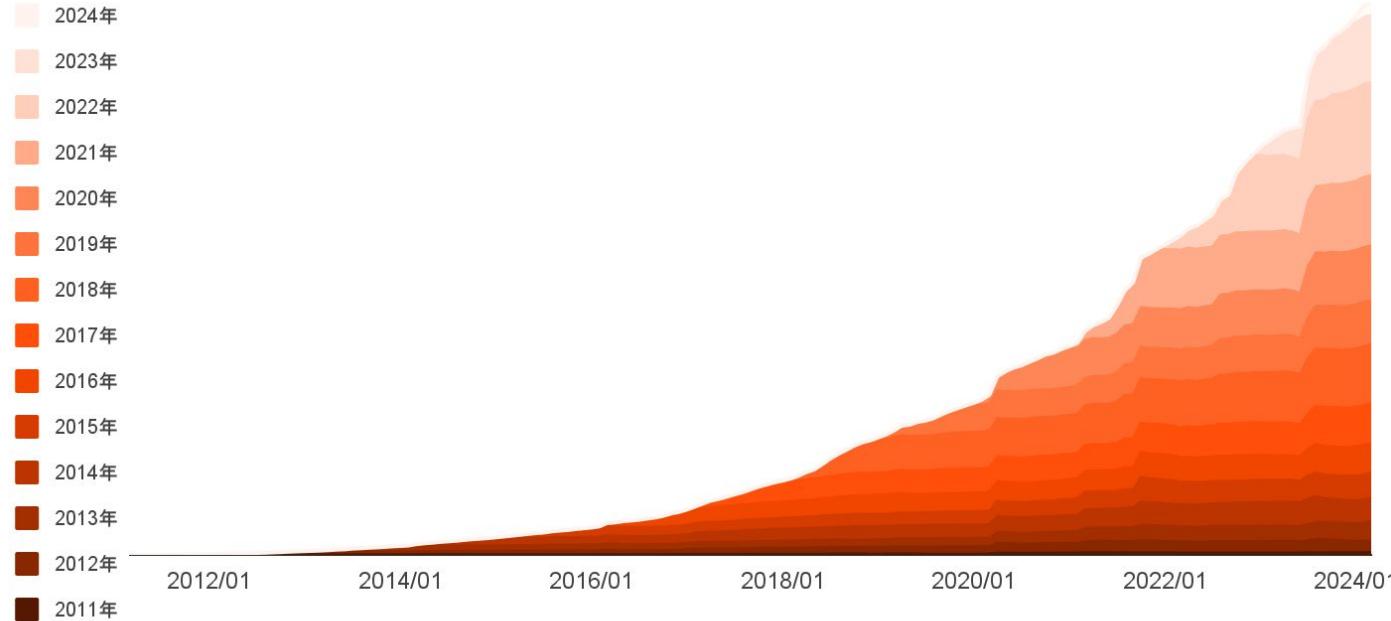
複利でユーザー数が伸び続けるサービス構造

- ・ 社内外がシームレスにつながるオープンプラットフォームと、無料からはじめられるフリーミアムの特性により、お客様・取引先と使いやすいため、紹介によりユーザーが複利の構造で広がり続けている
- ・ 競合他社の参入も、ユーザー数の伸びには影響していない



利用開始年度ごとのユーザー収益推移

- 解約に伴う減少収益を、社内の利用ユーザー増などの増加収益が上回っている（ネガティブチャーンを実現）
- NRR^{*1}は118%^{*2}と高水準を維持
- 月次継続率は99.77%^{*3}と非常に高い水準



*1 Net Revenue Retention Rate。「N-1期末時点における課金顧客から生じるN期末時点におけるストック収入」÷「N-1期末時点におけるストック収入」

*2 2023年12月末における課金顧客から生じる2024年12月末時点におけるストック収入 ÷ 2022年12月末時点から2023年12月末時のストック収入

*3 「1ヶ月解約率」。解約率は登録ID数に対しての解約率。2024年7月から2025年6月末までの12か月平均値

BPaaS (Business Process as a Service)

BPaaS領域でのサービス展開

- 現在のBPaaSの主力商品は「タクシタ」と「Chatwork 労務管理」
- 中小企業のノンコアビジネス全域に展開すべく、業務領域を拡大中



タクシタ サービス概要

月に10時間から
必要なタイミングで必要な分だけ
面倒な作業を Chatwork で依頼できる！

- ・月額3.8万円～依頼可能
- ・マニュアル不要
- ・最短5営業日～稼働可能
- ・採用・育成不要



依頼できる業務内容

経理	仕訳・記帳作業・請求書発行
労務	勤怠管理・給与計算
事務	データ入力/整理・文字起こし・SNS運用・記事作成
その他	
総務	・営業事務・秘書・採用・翻訳・システム導入 etc

料金プラン

	1ヶ月プラン	3ヶ月プラン	6ヶ月プラン	年間プラン	カスタムプラン
料金	¥47,000/月	¥45,000/月	¥42,000/月	¥38,000/月	ご要望に沿って個別でプランを作成いたします。詳細はお問い合わせください。
ご契約月数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	
実働時間 / 月	10h	10h	10h	10h	

Chatwork 勤怠管理 powered by MINAGINE サービス概要

法令遵守と業務効率化を実現する メーカー初期設定型のクラウドシステム

サービス：勤怠管理システム（打刻、申請承認、休暇管理、勤怠データ出力など）

価格：初期設定代行費用：0円～／月額：30,000円（税抜）～

継続率
99.5%

※2020年時点での
ユーザ基準



様々な打刻方法を 自由に選択可能

PC・スマホ・タブレット・ICカード・
専用アプリから打刻可能。Win/Macで
PCログも取得可能

労務リスク対策機能で しっかり法令遵守

各従業員の有休消化率や36協定の
レポート機能あり。年次有給休暇5日
取得の自動メールアラートも可能。

初期設定なしで利用可能

多様な働き方やルールに対応。ご担当
者に負担をかけることなく、安全かつ
スケジュール通りの導入を実現！

労務の専門家として30年以上の実績
業務の属人化、法改正対応等のお悩みを解決

サービス：給与計算、賞与計算、Web給与明細、年末調整など

価格：初期費用：0円／月額：30,000円（税抜）～



※2022年度当社お客様
満足度調査



専門チームが正確＆迅速にサポート

kubellグループである株式会社ミナジンの専門チームが対応します。ミナジンでは20年以上の実績があり、複数名で構成されたチーム制で担当するため、正確・迅速なサポートが可能です。

幅広い業務に対応

給与計算以外にも、住民税更新代行や年末調整、賞与計算も取り扱っております。マイナンバー対応や、入退社手続における従業員様との直接対応も可能です。

総合的に労務領域をサポート

社労士法人ミナジンを併設しており各種手続代行も可能。就業規則や各種規程類の見直しもご依頼頂けます。

人事評価制度を成功させるために必要な構築・運用サポート・人事評価システムの全てを提供

サービス：人事評価制度構築・運用サポート・人事評価システム
価格：ご希望のサービスや人数により異なります



人事評価制度構築

最短3か月で運用しやすいシンプルな人事評価制度を構築。環境変化の影響を受けないように、短期間での構築を実施。社員の皆様が運用しやすいシンプルな制度構築を目指します。

運用サポート

構築のみで完結せず、運用サポートもご提供。月1ペースでの研修・サポートを実施する事で、定着支援します。

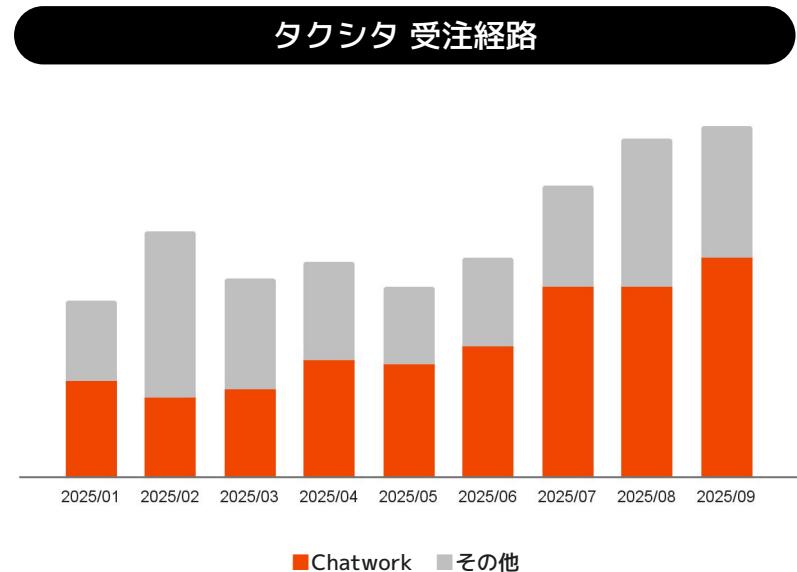
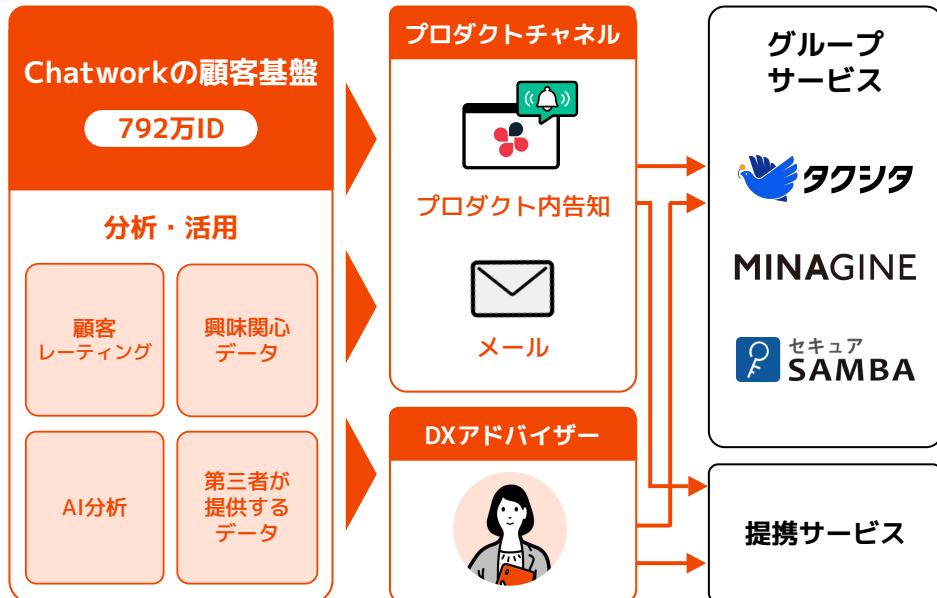
システム化による工数削減

目標設定から評価までシステムで完結できます。評価シートの配布・集計作業の工数削減が可能となります。

Appendix2 | 直近の主要トピック

トピック① サービスを横断したマーケティング基盤の整備が進展

- Chatworkの792万IDにも及ぶ顧客基盤を、グループ全体のマーケティングエンジンとして活用する体制の整備が進む
- AIを活用したデータ分析を行い、マーケティング精度を向上。複数のチャネルを最適に組み合わせ、クロスセルの最大化を図る
- BPaaSサービス「タクシタ」においては、新規顧客の約6割をChatwork経由で獲得するなど、着実に成果を上げている



トピック② 社労士向けシェアトップクラスSaaS「社労夢」との連携を開始

- ・ 社労士事務所向け業務支援システムでトップクラスのシェアを誇る「社労夢」とAPI連携を開始
- ・ 今回の連携により「社労夢」からChatworkへの各種通知、ファイル送信、タスク登録が可能となり、これまでメールや電話に依存しがちだった社労士事務所と顧問先間の業務効率が向上
- ・ Chatwork未利用のユーザーに対してはChatworkアカウントの登録を招待する連携を実施予定。Chatworkとの連携を促進することで社労夢の価値向上をはかるとともに、Chatworkユーザー基盤の拡大につなげる

社労夢の顧客基盤



社労士事務所
労働保険事務組合

3,000事務所

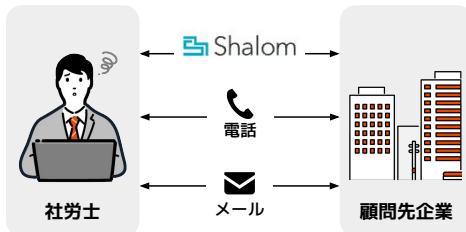
顧問先企業

55万社
930万ユーザー

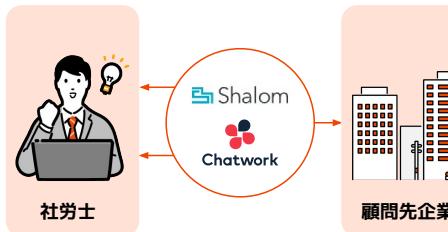
社労士事務所向け
シェアトップクラス

業務効率化による提供価値の向上

これまでの課題



連携による解決



本連携による価値

業務効率化による
双方のサービス価値向上

+

Chatwork未利用ユーザー
にアカウント登録を招待。
ユーザー基盤の拡大

電子申請の結果通知や公文書の共有がメールや電話に依存し、情報の見落としや確認の手間が業務負担となっていた

社労夢での業務連絡やファイル共有をChatworkに集約することで、コミュニケーションの手間を大幅に削減し、業務全体の効率化を実現

トピック③ プロダクト開発体制が整い、戦略的施策が進む

- 本年7月CPO (Chief Product Officer)およびCTO (Chief Technology Officer)を任命し、プロダクト主導の成長を牽引する経営体制を強化。PLG (Product-Led Growth) やAI活用といった戦略的に重要な開発をさらに加速させ、持続的な事業成長を目指す
- 開発体制が強化されたことにより、Chatworkのプロダクト改善ペースが大幅に向上。直近では、アカウント登録を簡略化するパスワードレス機能、初期情報の最小化などを実装。アカウント登録の完了率が有意に上昇している
- 今後、よりChatworkの利用価値を高めるためタスク機能の強化、AI機能の実装などを予定。継続的な定着率・課金率の向上を狙う

プロダクト改善の概要

※※※ × パスワードレス

アカウント登録時のメールアドレスに認証コードを発行することでパスワード設定を不要にし、登録の手間を削減

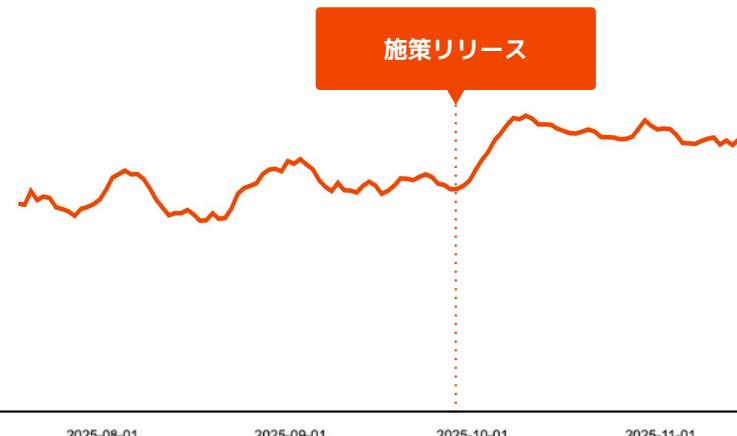
⌚ 初期登録情報の最小化

アカウント登録に必要な情報入力をメールアドレスと氏名のみに最小化し、その他の情報は利用後に登録を促す

準備中

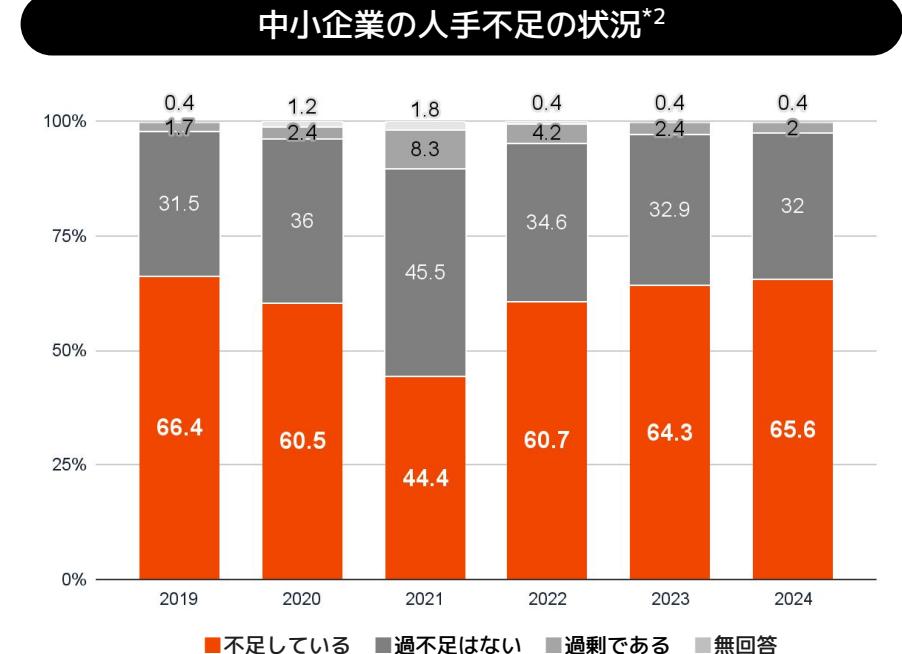
・タスク機能の改善
・AI機能の実装

Chatwork本登録の完了率



トピック④ BPaaSドメインの新サービス「タクシタ採用」を提供開始

- 8月より、BPaaSドメインのHR領域を強化する新サービスとして、RPO^{*1}（採用代行サービス）「タクシタ採用」の提供を開始
- 採用戦略の立案から求人票作成、面接日程調整、入社後のサポートまで、採用プロセス全体をワンストップかつ低コストで依頼可能
- 中小企業の65.6%が人手不足を感じており、多くの企業が抱える採用ノウハウ不足やリソース不足といった課題に「タクシタ採用」は直接的な解決策を提供。また、従来の経理や労務といった領域の既存ユーザーからの拡販も見込める



*1 Recruitment Process Outsourcingの略称

*2 日本商工会議所・東京商工会議所「中小企業の人手不足、賃金・最低賃金に関する調査」

Appendix3 | KPI · 財務數值詳細

ドメイン別 売上高推移

- SaaSドメインのストック売上高は前年同期比+6.6%と堅調に推移
- BPaaSドメインのストック売上高は前年同期比+60.1%と引き続き高い成長率を維持

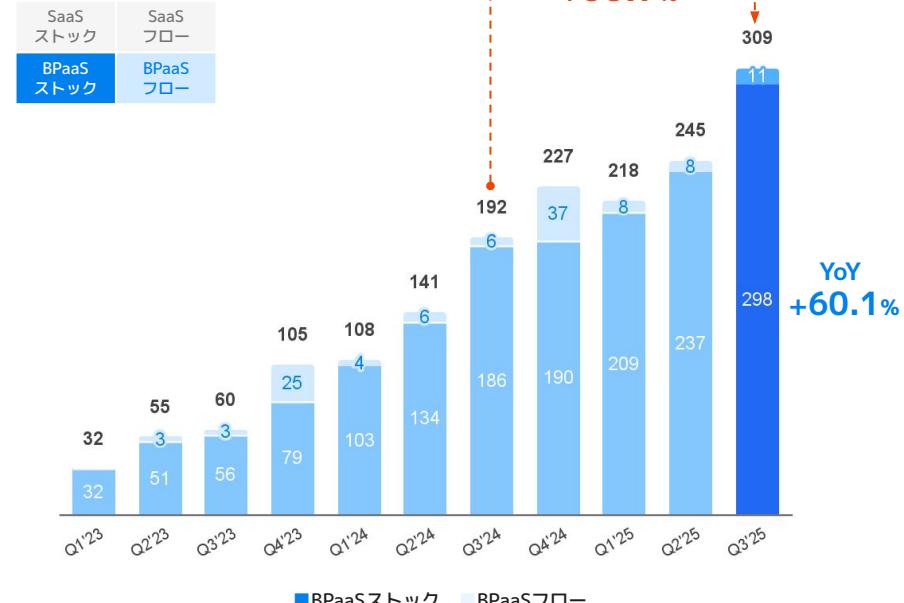
SaaSドメイン 売上高（ストック・フロー別）

単位：百万円



BPaaSドメイン 売上高（ストック・フロー別）

単位：百万円

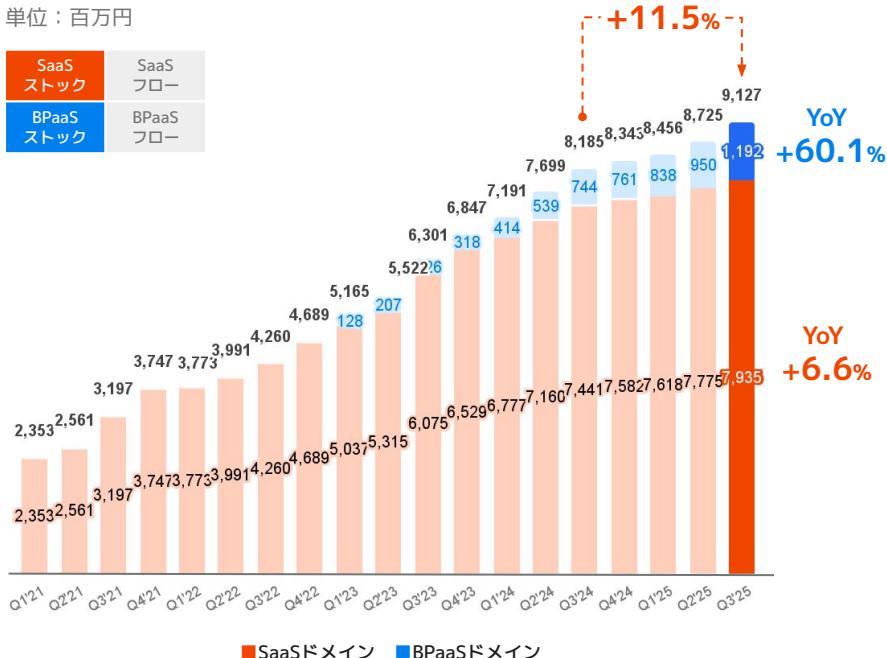


ARR推移

- 全社ARRは前年同期比+11.5%と安定した収益基盤の拡大が継続
- BPaaSドメインのARRは前年同期比+60.1%と高い成長率を維持し、全社ARRの成長を力強く牽引

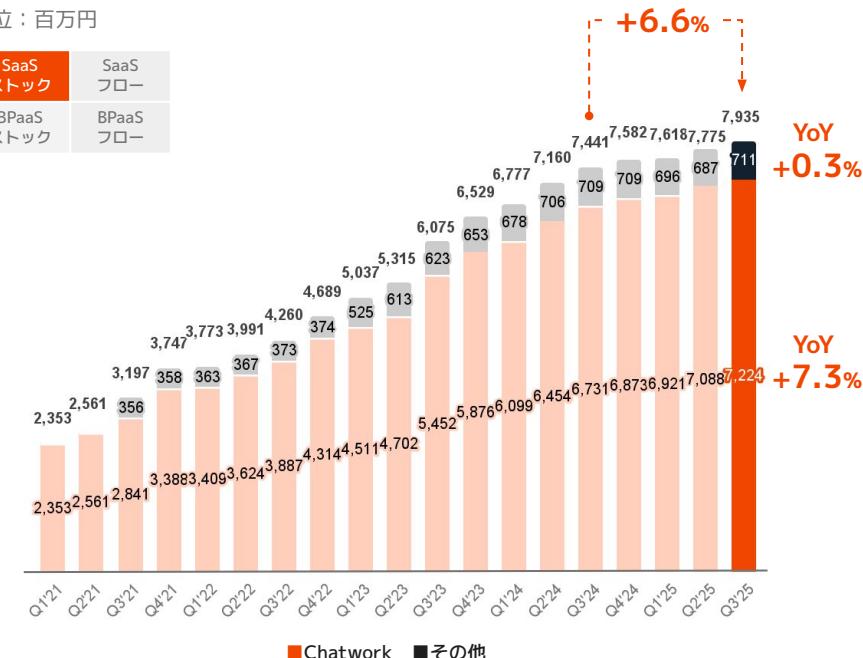
全社ARR^{*1} (ドメイン別)

単位：百万円



SaaSドメイン ARR (Chatwork・その他)

単位：百万円



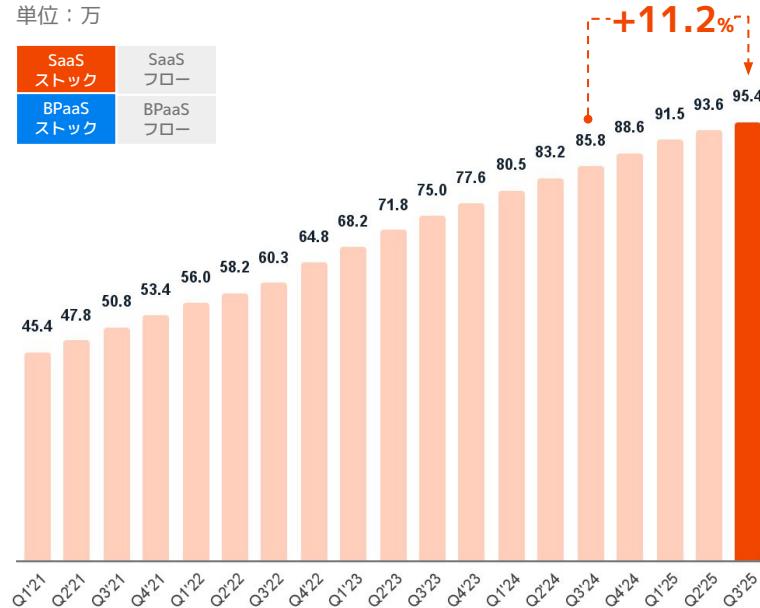
*1 ビジネスチャット、クラウドストレージ、勤怠管理・人事評価システム、BPaaS関連のサブスクリプションサービスの年間経常収益

*2 Chatworkストレージ利用料の課金契約あたりの平均単価 (Average Revenue Per Account)

kubellグループサービス導入社数推移

- kubellグループサービスの導入社数は95.4万社、**前年同期比+11.2%**と順調にプラットフォームとしての規模を拡大

kubellグループサービス導入社数（無料・有料）

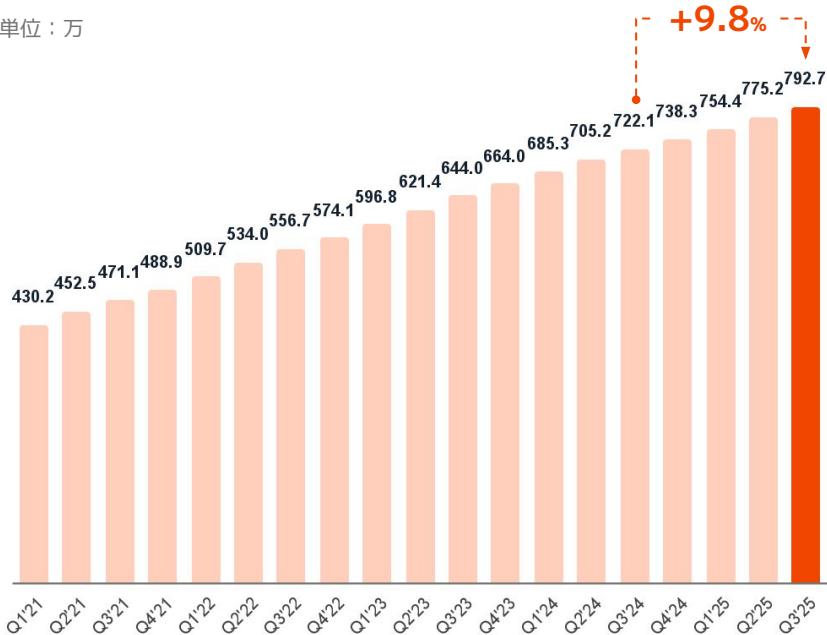


Chatwork 登録ID数・DAU数推移

- 登録ID数は前年同期比+9.8%の792.7万IDへと拡大。DAUは前年同期比同+6.2%と前四半期の前年同期比と比較して+0.8pt増加
- 当四半期にリリースした「パスワードレス機能」や「初期登録情報の最小化」など、ユーザー間のネットワーク効果を最大化する施策を推進し、引き続きユーザー基盤及びエンゲージメントの向上を図る

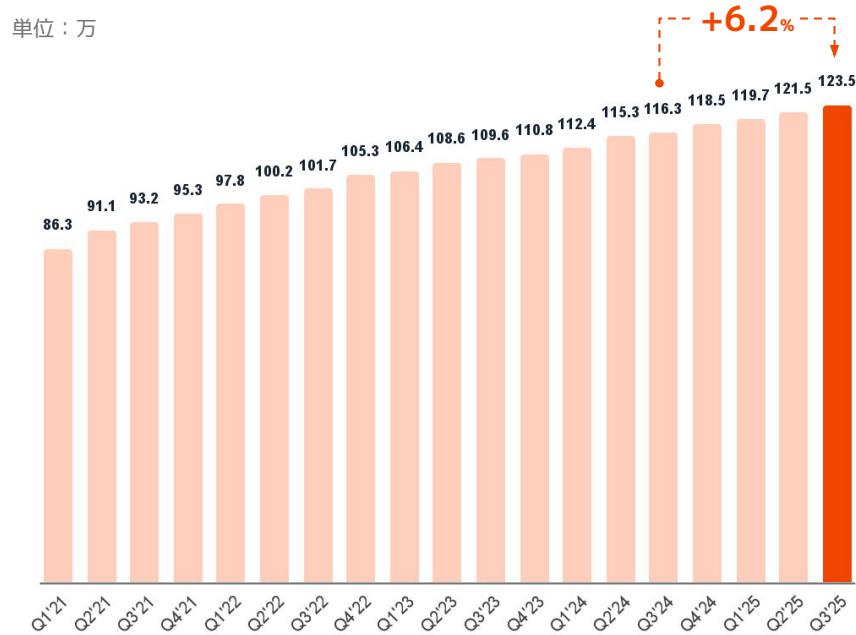
Chatwork 登録ID数

単位：万



Chatwork DAU数^{*1}

単位：万



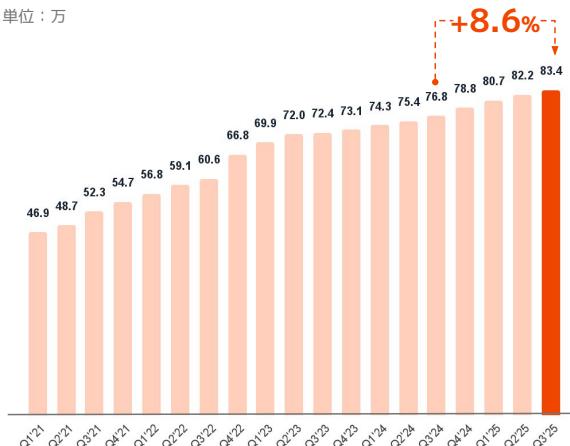
*1 1日あたりのサービス利用者数（Daily Active User）の土日祝日を除く平日の中央値

Chatwork 課金ID数・ARPU・解約率推移

- 課金ID数は前年同期比+8.6%の83.4万IDへと拡大。2023、2024年度の第3四半期までの期間と比較して成長率は加速
- ARPUは725.3円、前年同期比-1.4%、前四半期比+0.5%と低下トレンドは底打ちとみられる。単価の高いエンタープライズプランの販売強化や値引き契約のマネジメント等の対応を実施することで引き続きARPUの改善を目指す
- 課金ID解約率は0.86%と過去最低水準まで低下しており、引き続き下降トレンドが続く

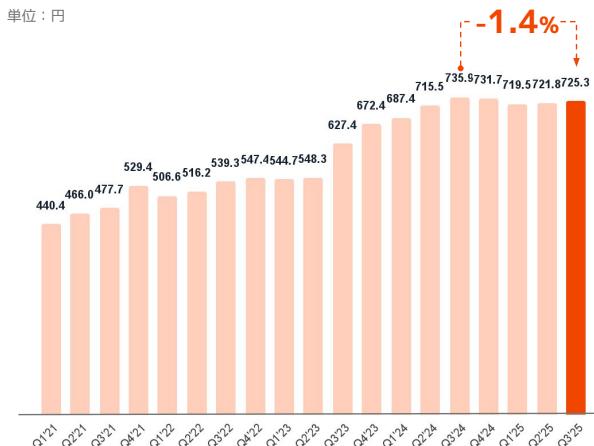
Chatwork 課金ID数

単位：万

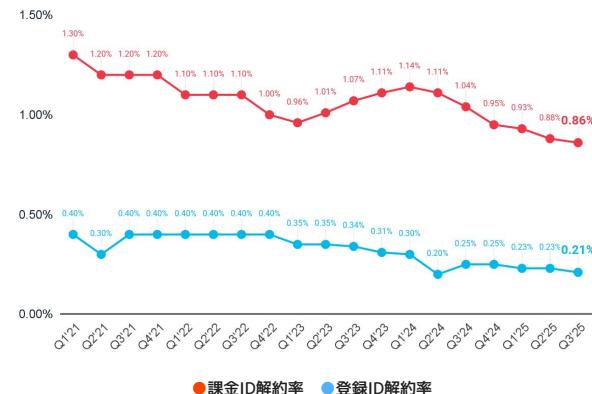


Chatwork ARPU^{*1}

単位：円



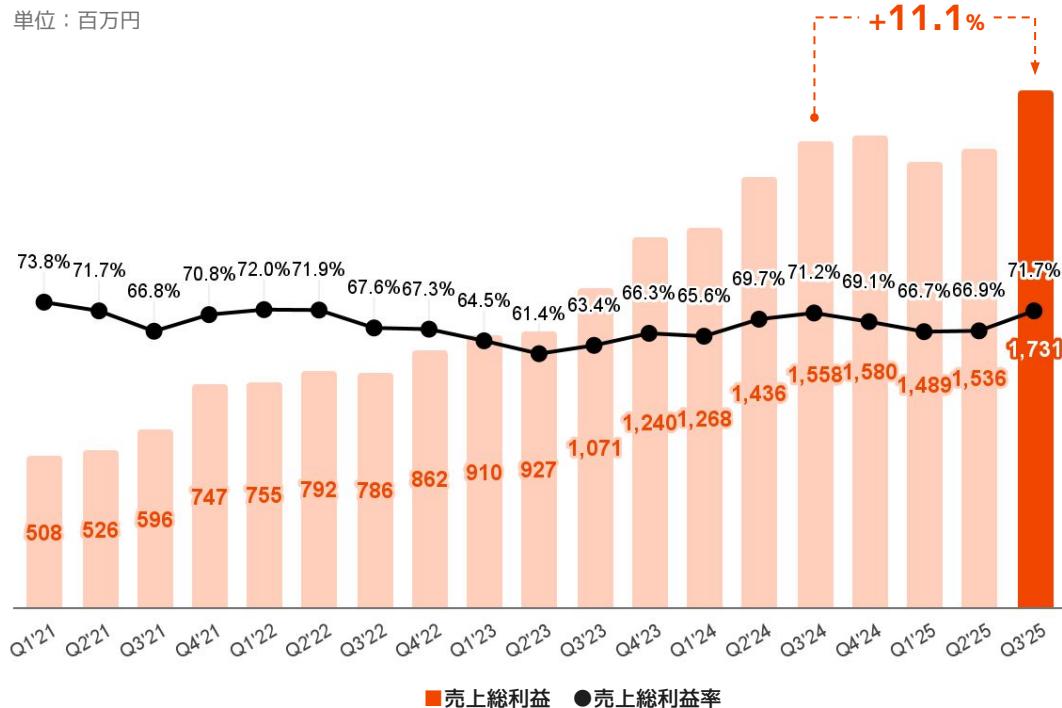
Chatwork 解約率



*1 Chatwork利用料の課金IDあたりの平均単価（Average Revenue Per User）

売上総利益・売上総利益率推移

- 売上総利益は、売上高の成長に伴い前年同期比+11.1%の1,731百万円と着実に増加
- 戦略的なプロダクト開発が進みソフトウェア資産計上額が増加し、売上総利益率は71.7%と、前四半期比+4.8ptと大幅に改善

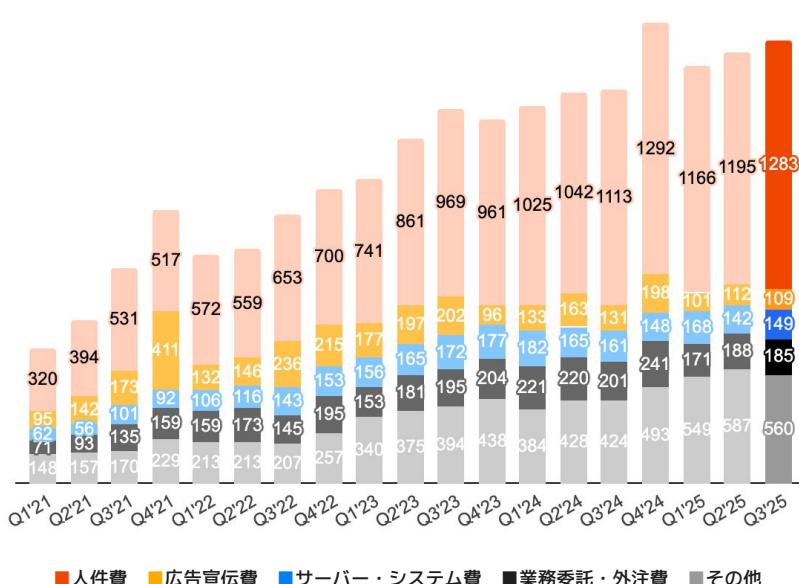


費用構成推移

- BPaaSの売上拡大に伴い、オペレーターの増員を行ったため人件費は増加。今後も同様のペースで推移する見通し
- 広告宣伝費および業務委託費は効率化が進むことにより、売上に対する費用構成比が低水準に

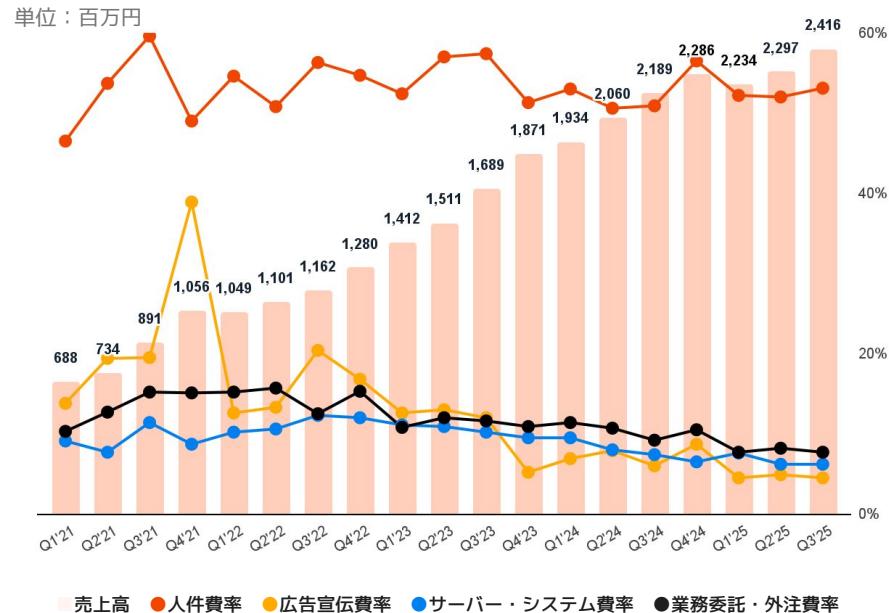
費用構成

単位：百万円



売上に対する費用構成比

単位：百万円



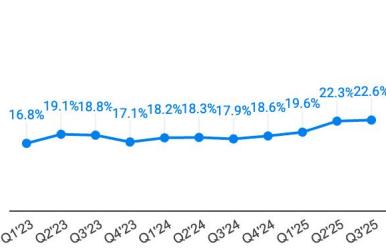
■人件費 ■広告宣伝費 ■サーバー・システム費 ■業務委託・外注費 ■その他

■売上高 ■人件費率 ■広告宣伝費率 ■サーバー・システム費率 ■業務委託・外注費率

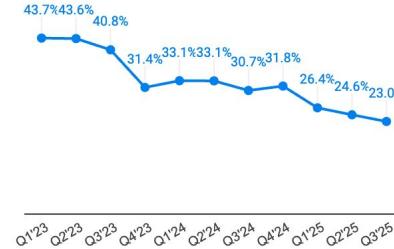
費用の対売上高比率

- BPaaSのサービス提供体制の強化、オペレーターの増加に伴い、Direct Cost比率はやや上昇
- S&M費用比率は人件費および採用費の抑制により前四半期からさらに低下。営業・マーケティングの効率化が進み、費用を最適化しつつも、売上高は堅調な成長を維持

Direct Cost^{*1}



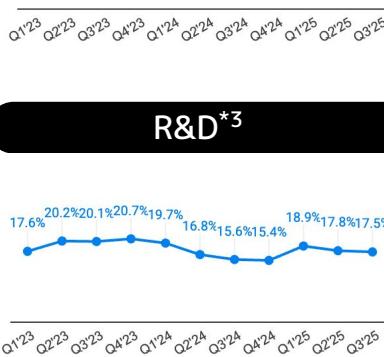
S&M^{*2}



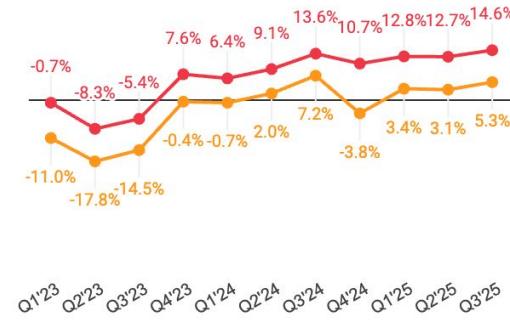
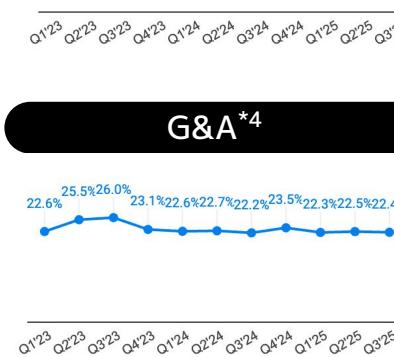
限界利益、EBITDA、営業利益



R&D^{*3}



G&A^{*4}



*1 サーバー費用、支払手数料、BPaaSオペレーターおよびカスタマーサポートに関する人件費など償却費用を除いた管理会計上の売上原価の合計

*2 Sales and Marketing比率の略称。販売促進に係る広告宣伝費やセールス人員の人件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

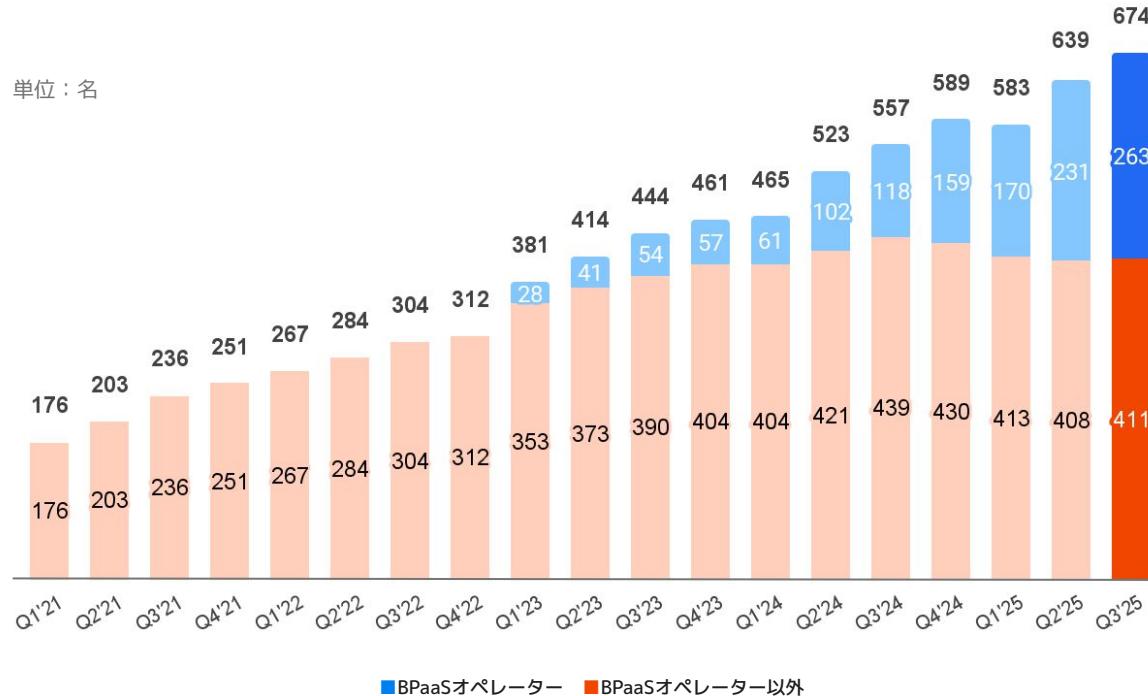
*3 Research and Development比率の略称。サービス開発に係るエンジニアの人件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

*4 General and Administrative比率の略称。コーポレート部門の人件費、関連費用など償却費用を除いた管理会計上の費用合計

●限界利益 ●EBITDA ●営業利益

従業員数推移

- グループ全体の従業員数は前四半期から35名増加。成長ドライバーであるBPaaS事業の拡大に伴うオペレーターの増員によるもの
- 業務効率化を優先しBPaaSオペレーター以外の人員は抑制してきたが、最適化が進んできたため今後はエンジニアを中心に拡大していく方針



Appendix4 | 株主優待のご案内

株主優待制度のご案内

より多くの皆様に当社のサービスをご利用頂くことにより、
当社への理解を更に深めるとともに末長く会社の成長を
応援していただけますと幸いです。



対象となる株主さま

- 毎年6月30日現在、および12月31日現在の当社株主名簿に2回（6ヶ月）以上連続して
当社株式の1単元（100株）以上の保有が記載されている株主さまが対象となります

ご優待の内容

- 当社有償提供のパーソナルプラン^{*1}を、1株主番号に対して1ID贈呈いたします
- 当社株式を保有いただいている期間において、月額の料金を無償とさせていただきます

*1 パーソナルプランのビジネスプランへの統合によって、有料パーソナルプランの提供は終了しておりますが、株主の皆様へは引き続き提供しております

本資料の取り扱いについて

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。